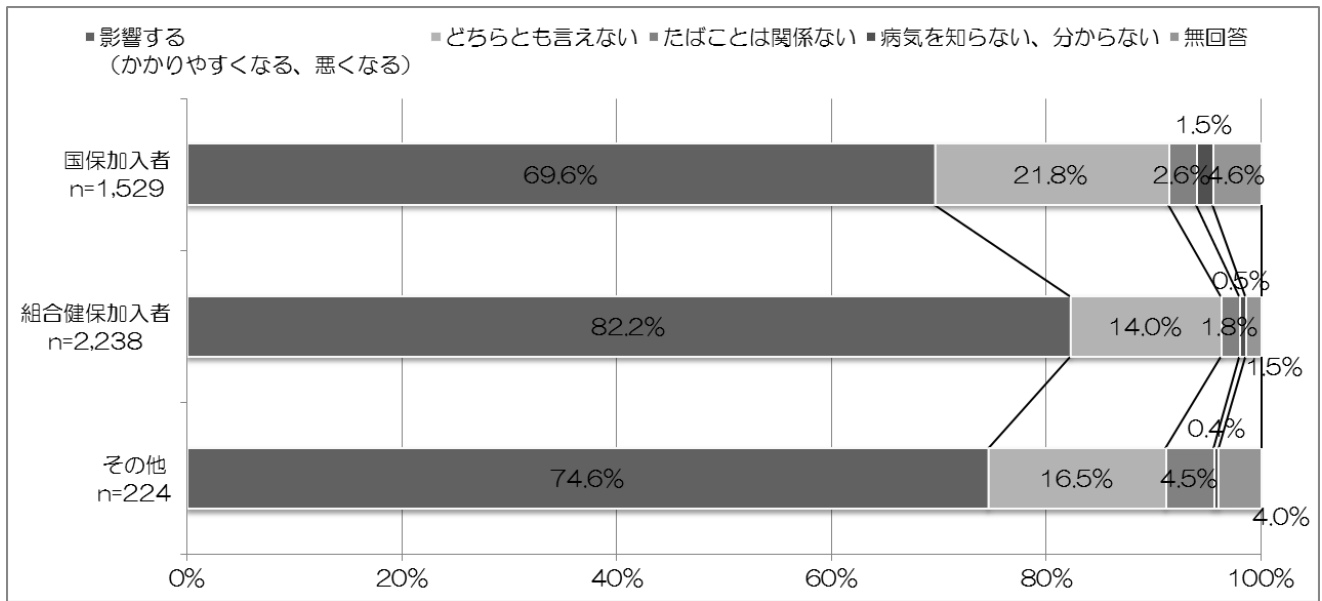
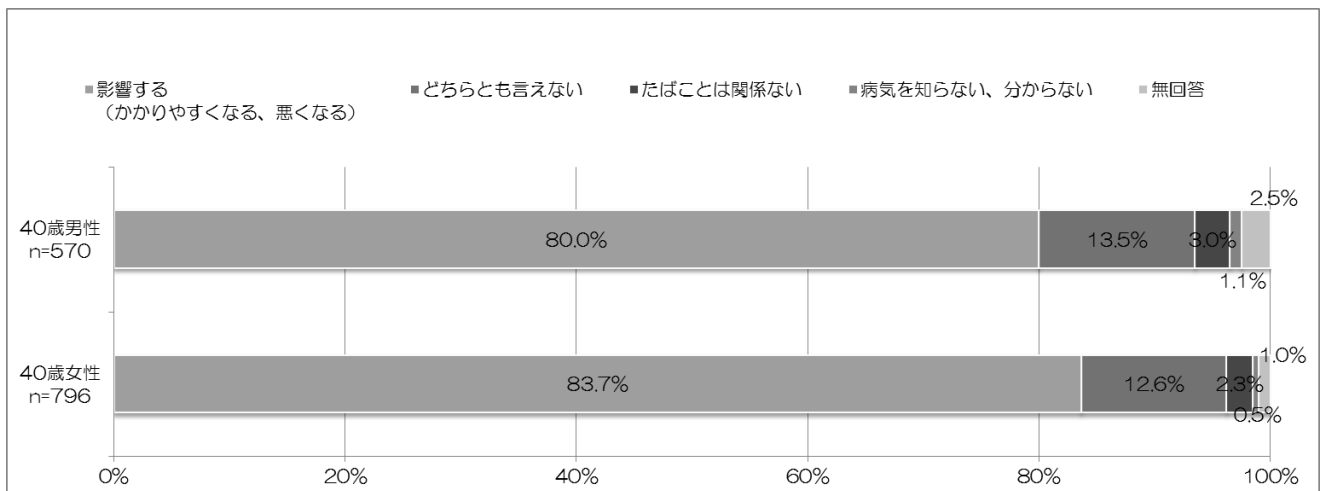


保険種別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。

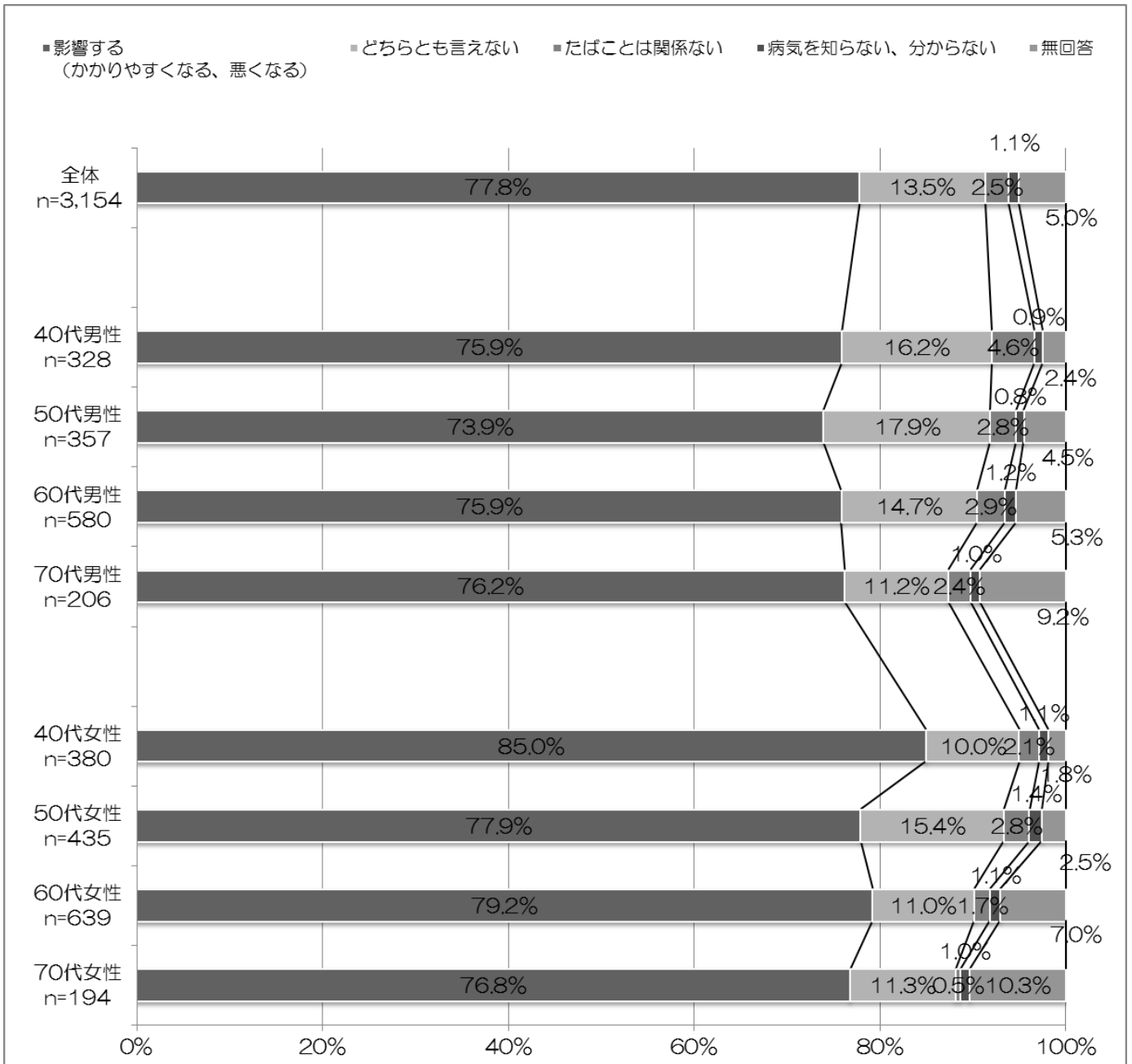


◆40歳の傾向

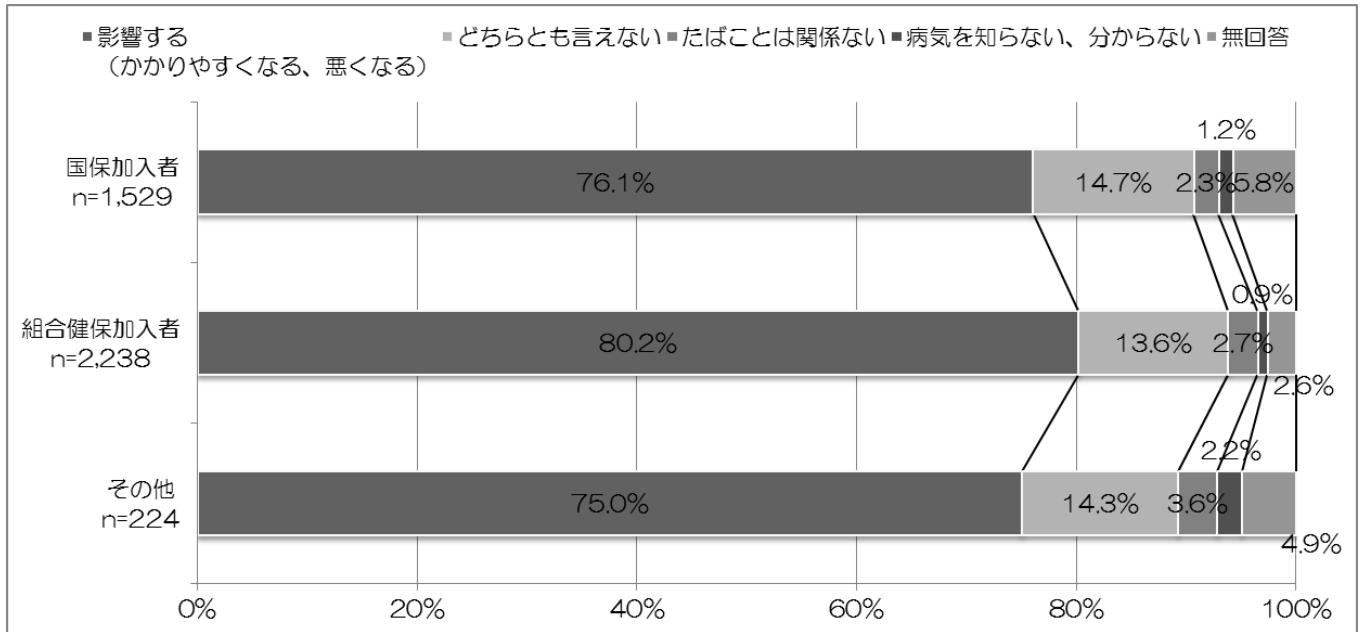


◆ぜんそく

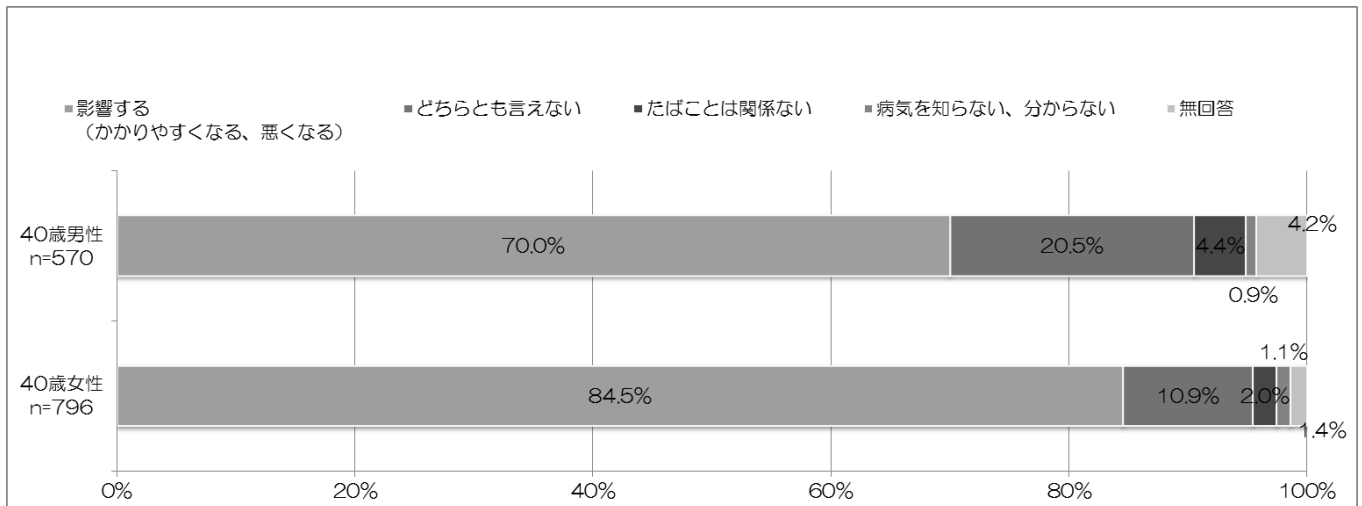
喫煙と病気に関する意識—ぜんそくに関しては、全体では「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、77.8%であった。年代別・性別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。

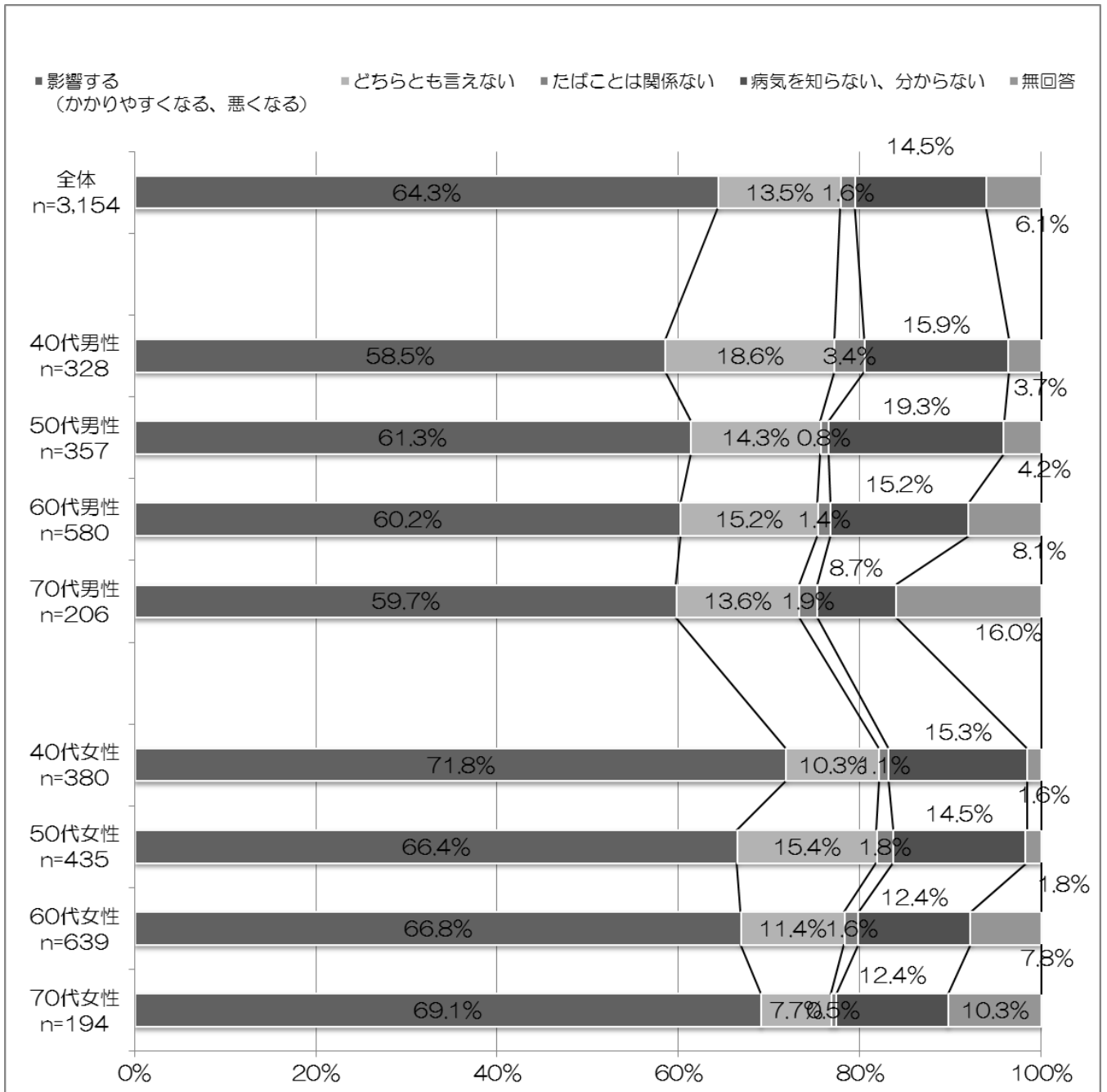


◆40歳の傾向

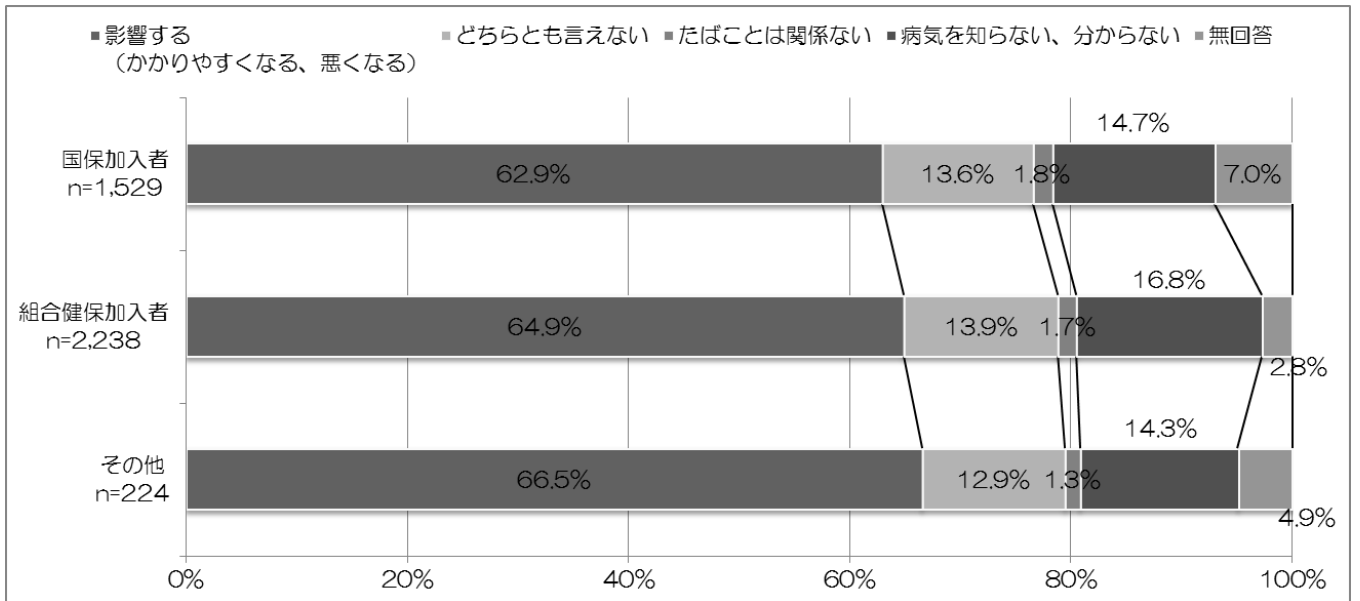


◆COPD

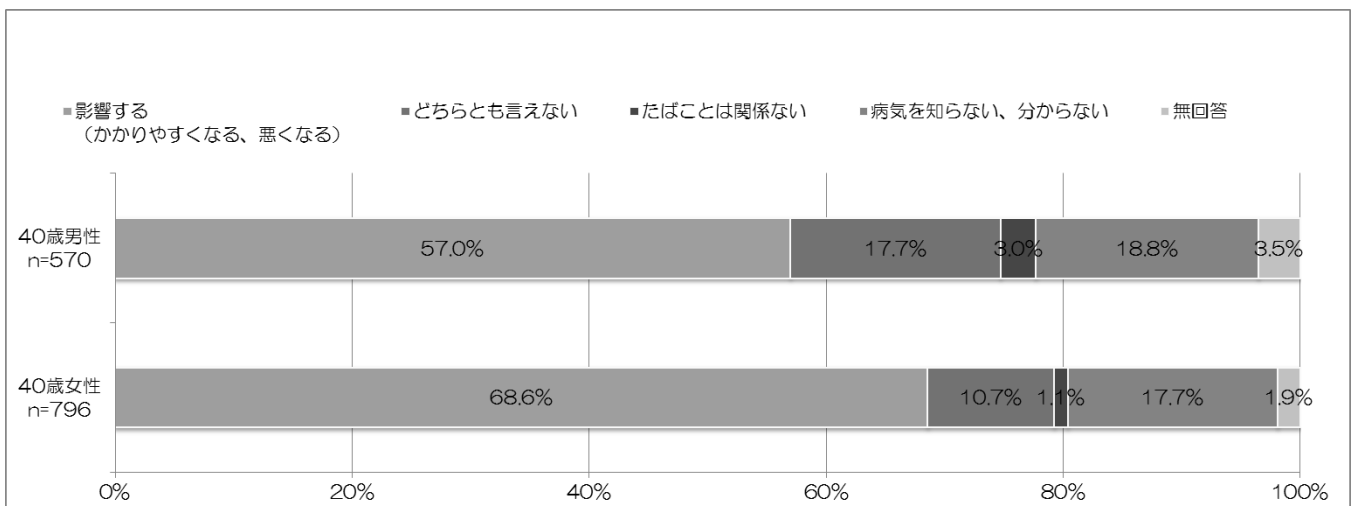
喫煙と病気の関係に関する意識—COPD に関しては、全体では「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、64.3%であった。年代別・性別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。

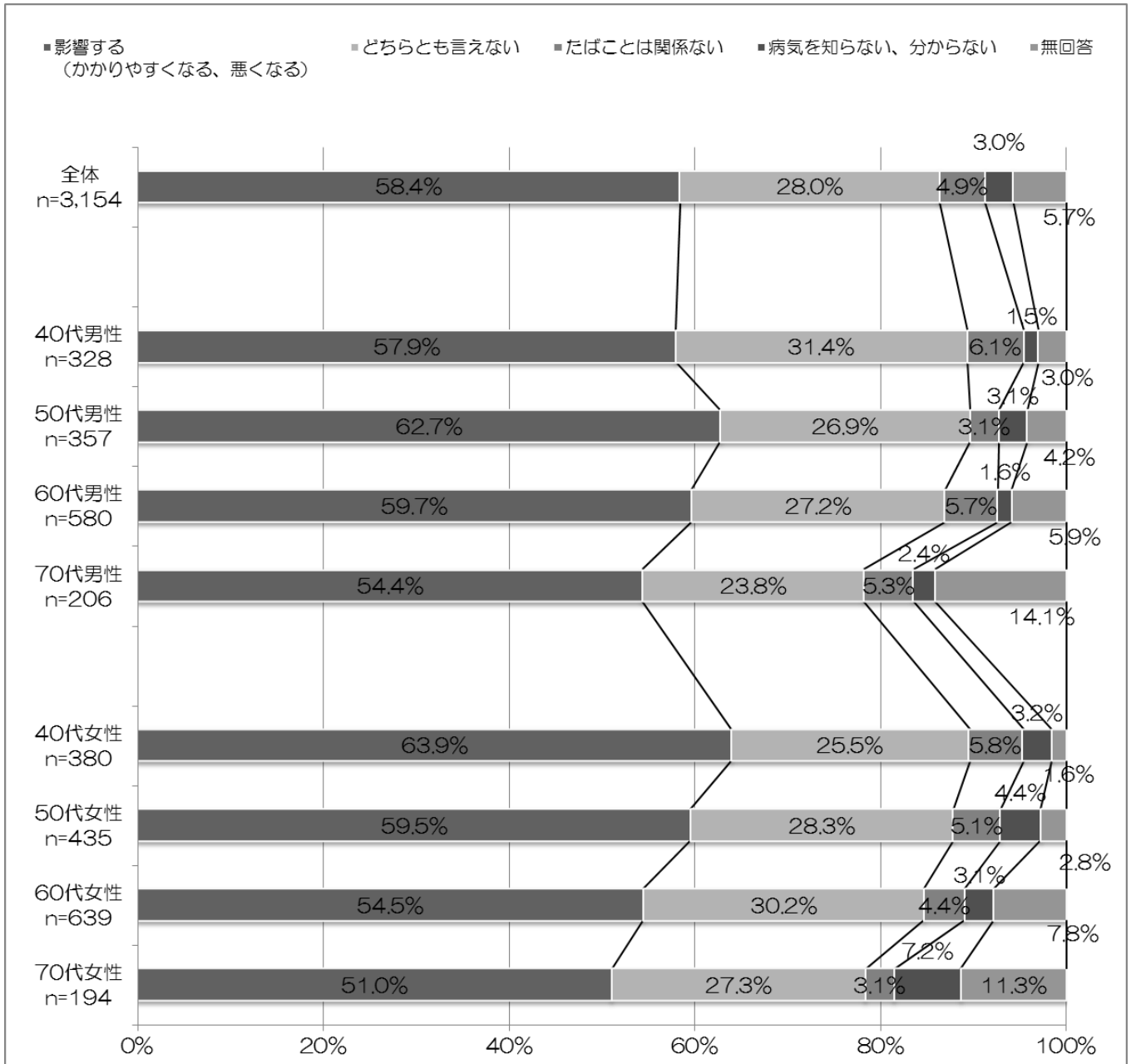


◆40歳の傾向

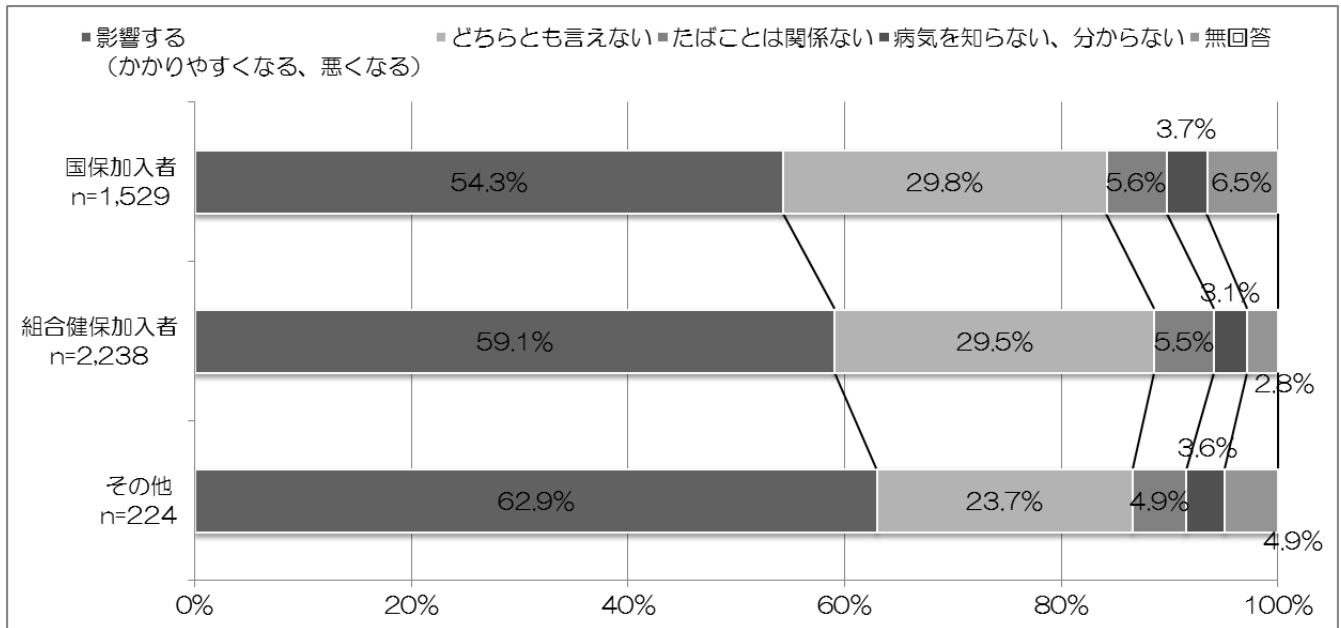


◆心臓病

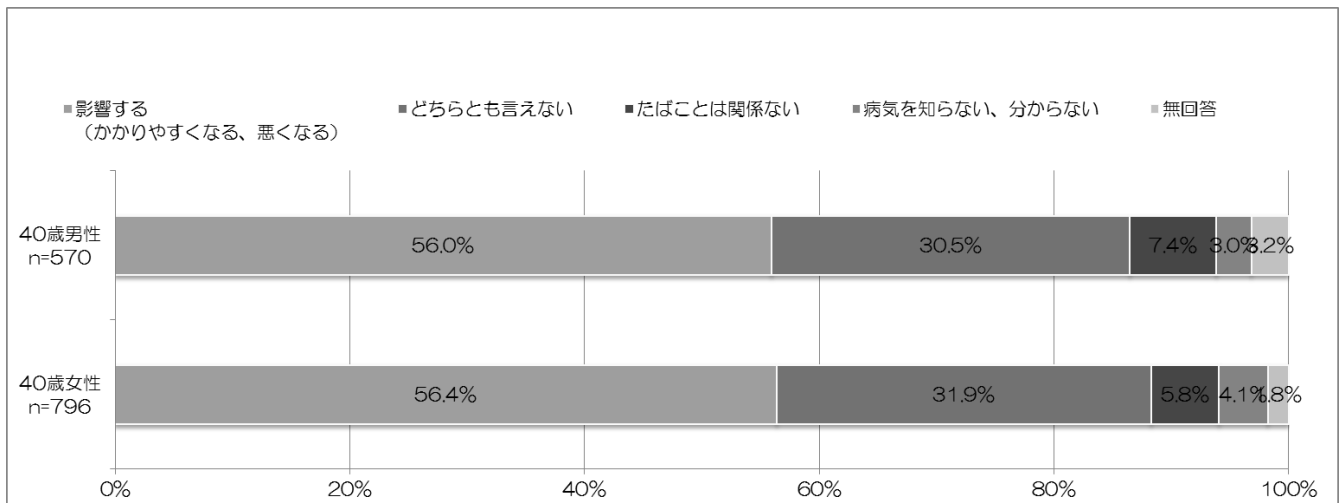
喫煙と病気に関する意識—心臓病に関しては、全体では「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、58.4%であった。年代別・性別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。

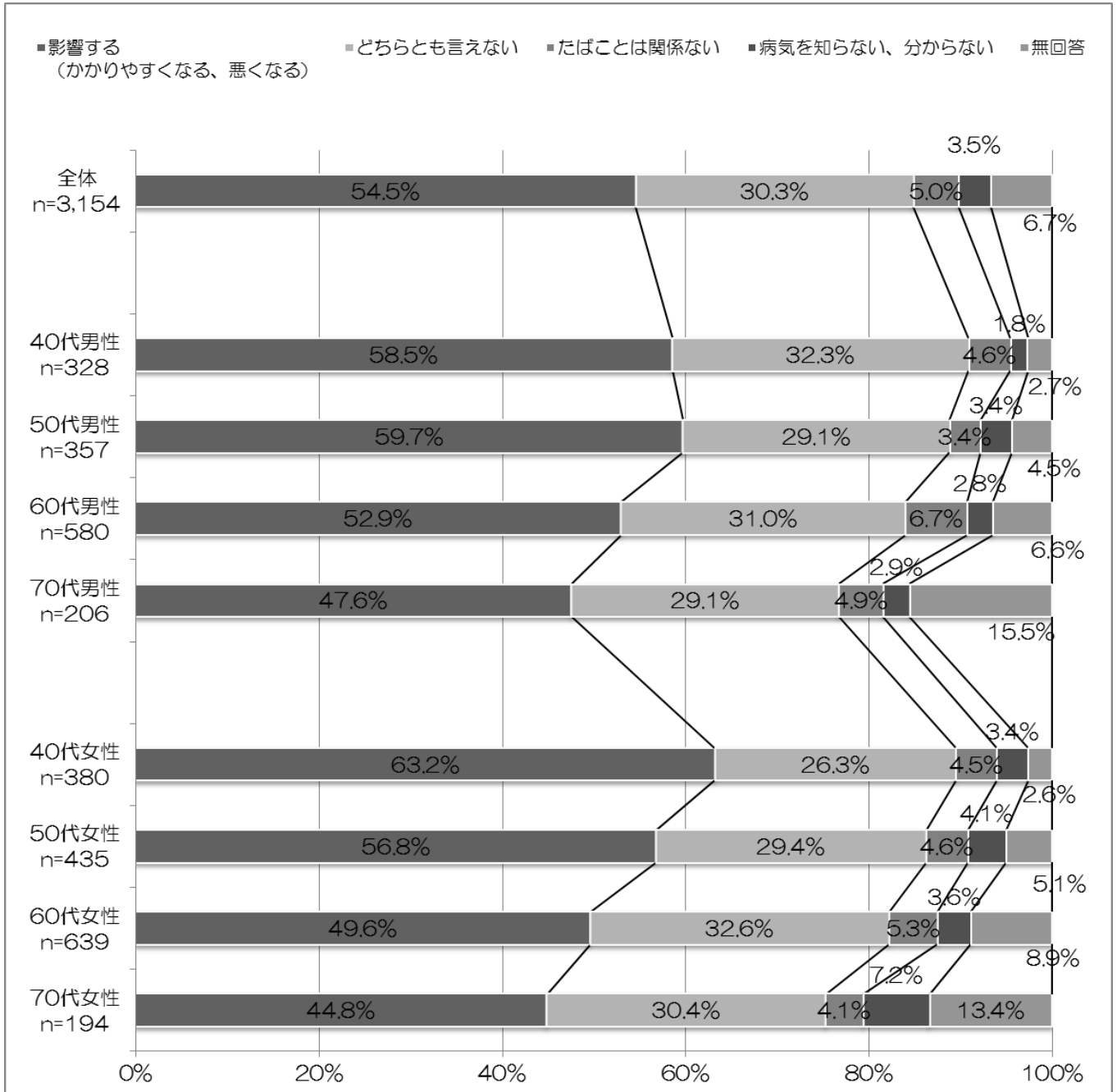


◆40歳の傾向

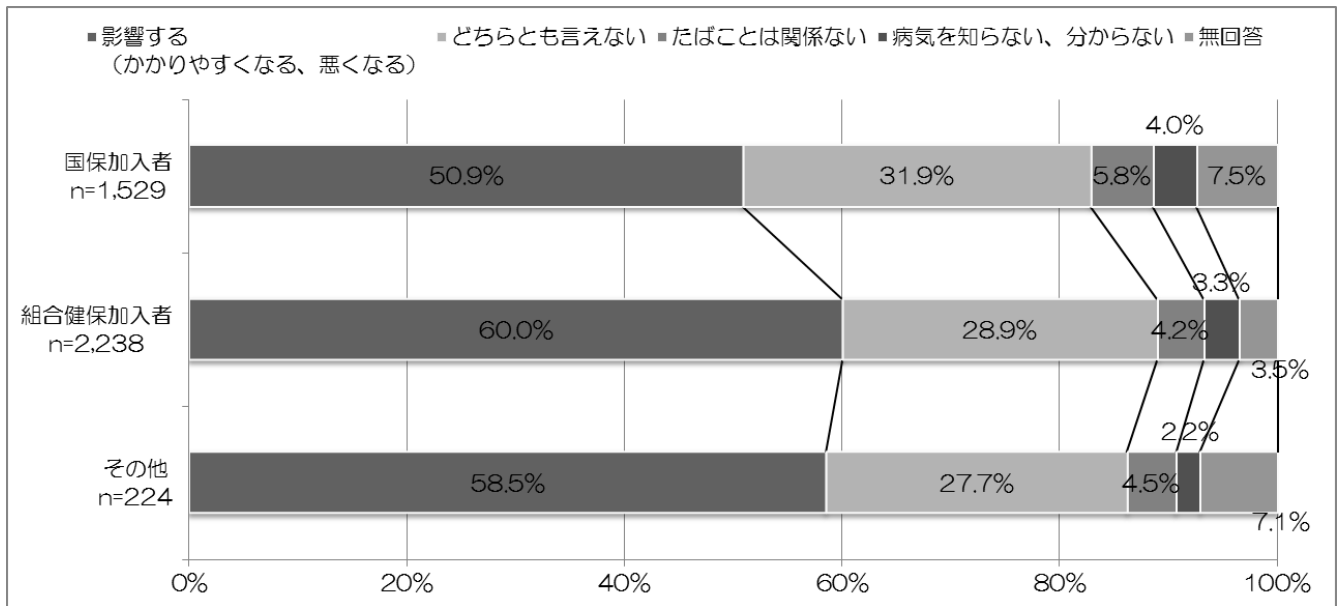


◆脳卒中

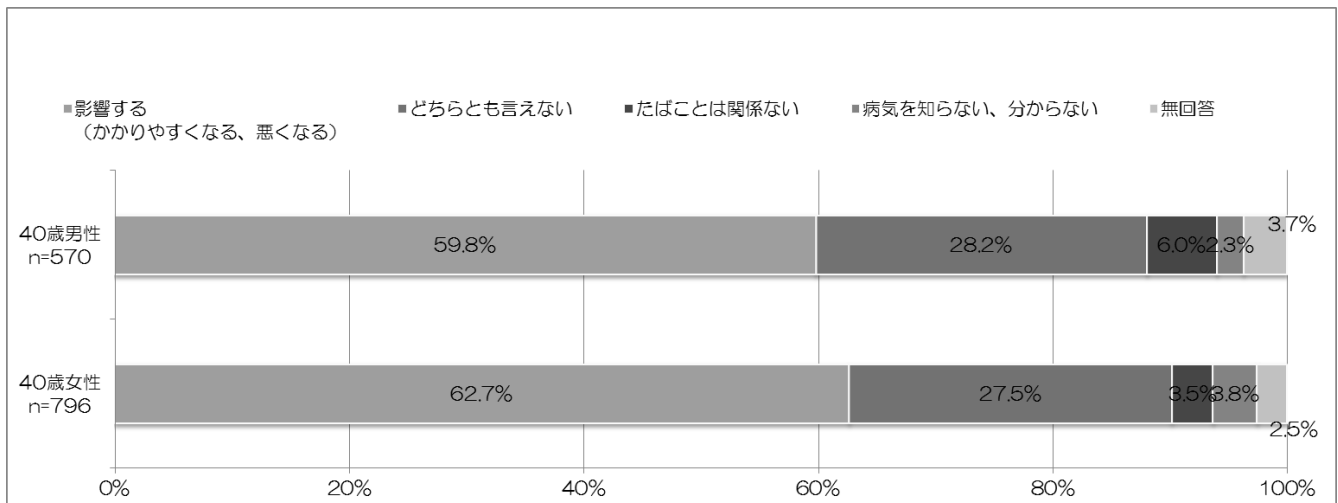
喫煙と病気に関する意識—脳卒中に関しては、全体では「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、54.5%であった。年代別・性別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。

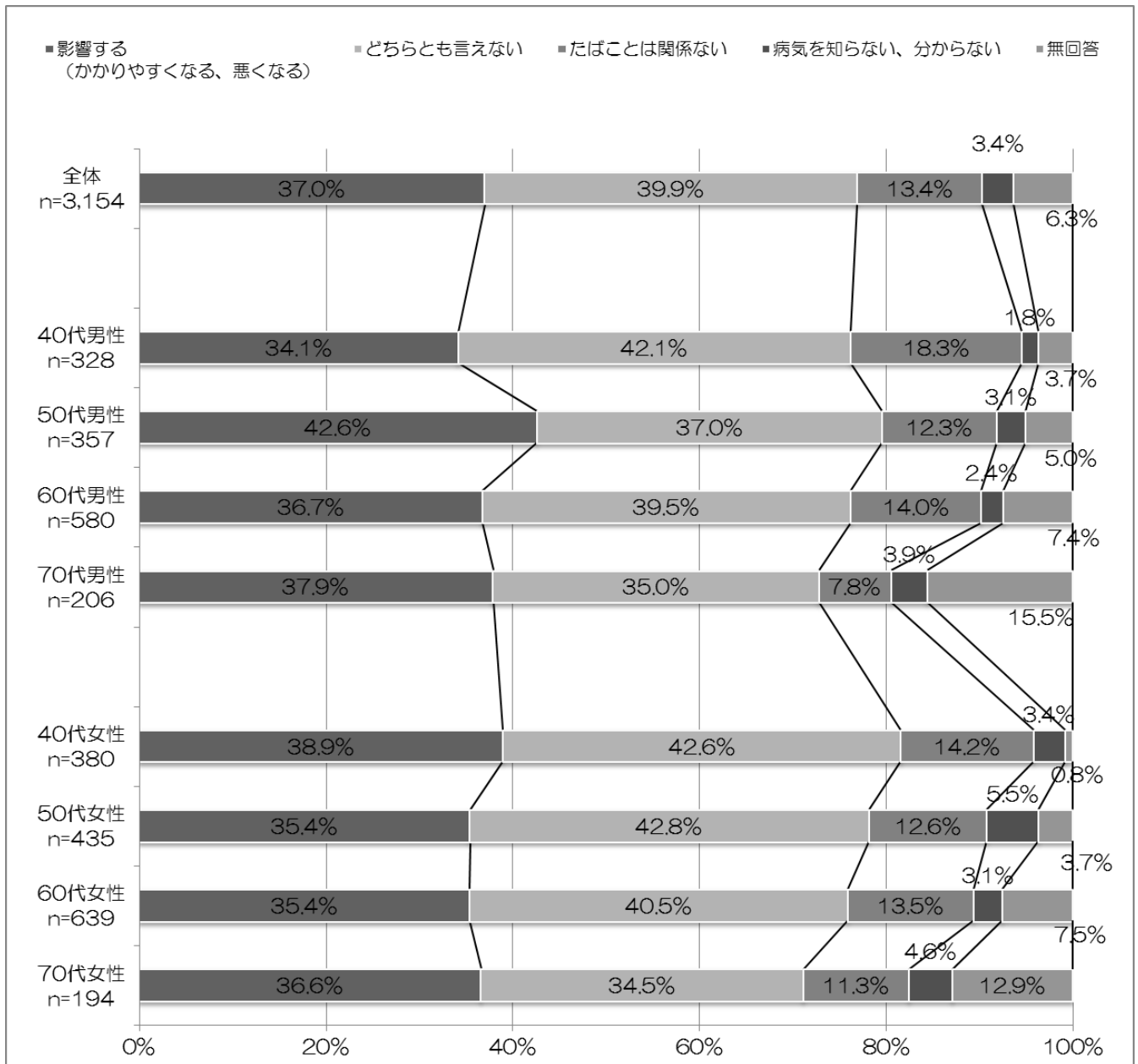


◆40歳の傾向

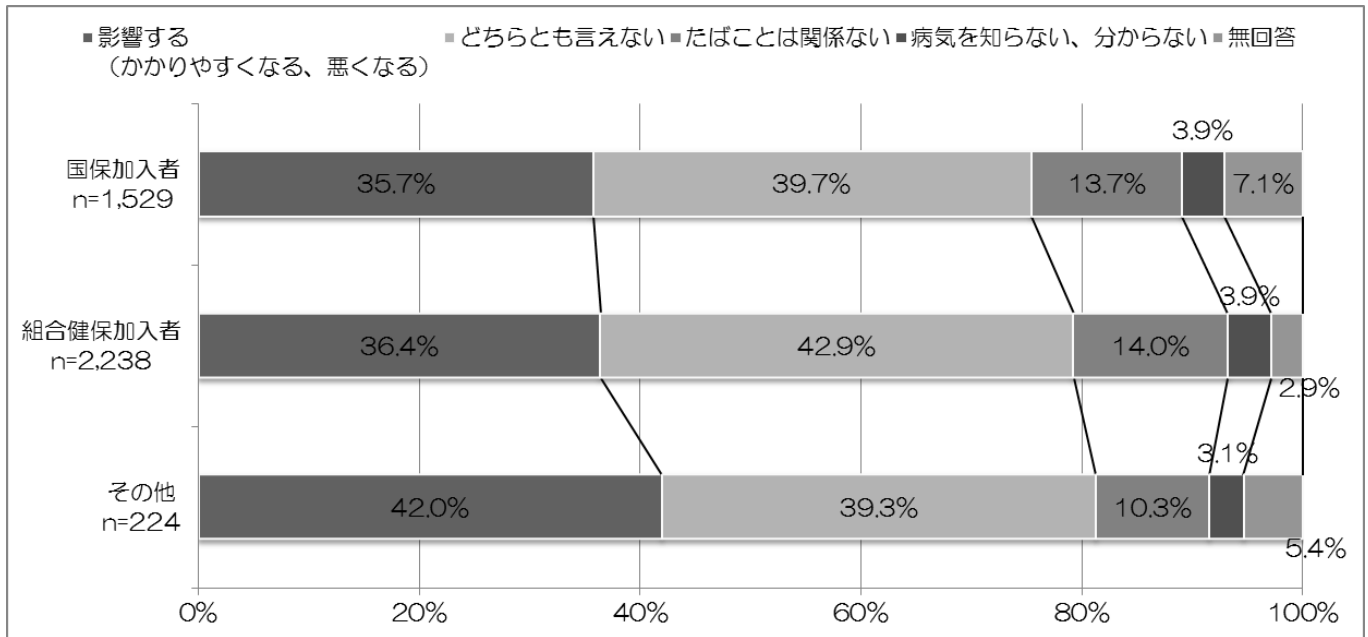


◆胃かいよう

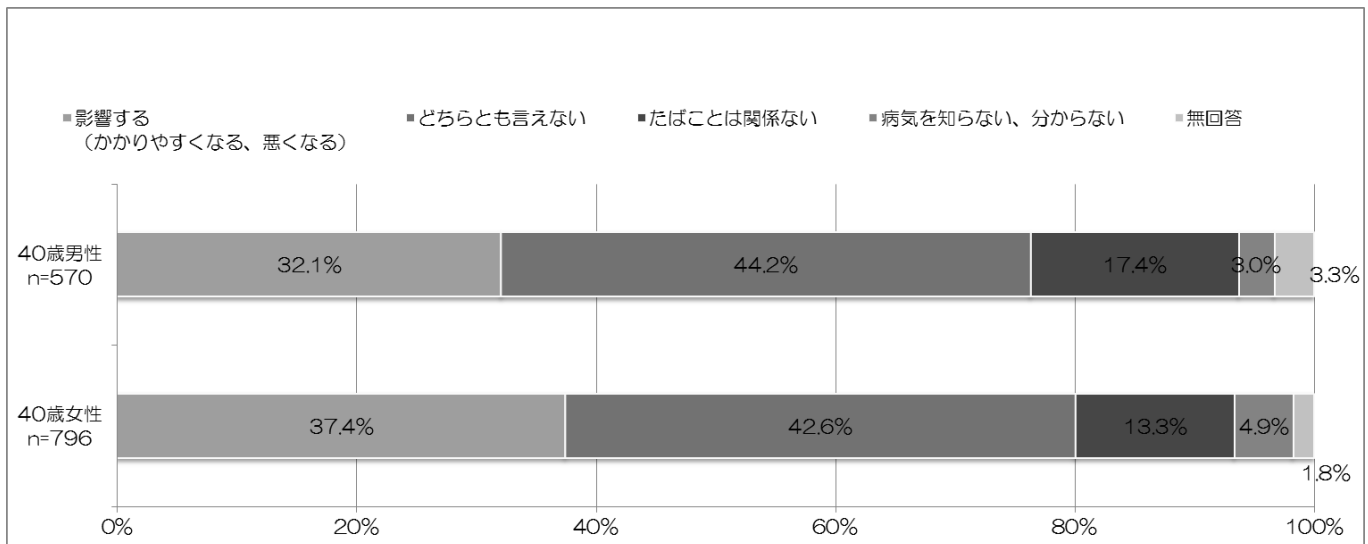
喫煙と病気に関する意識—胃かいように関しては、全体では「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、39.9%であった。年代別・性別にみると、50代男性、70代男性、70代女性において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、また、40代男性、60代男性、40代女性、50代女性、60代女性において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。

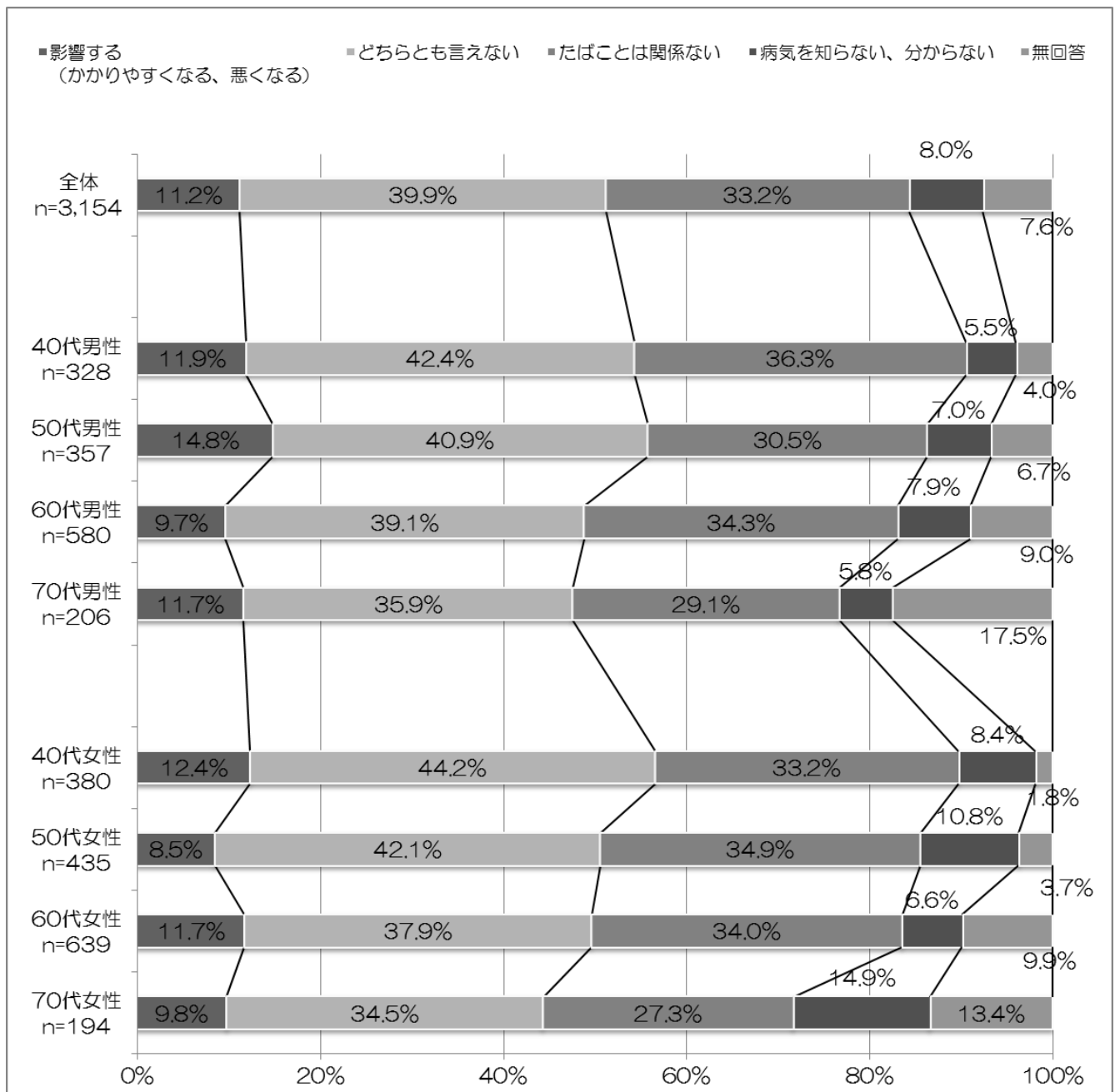


◆40歳の傾向

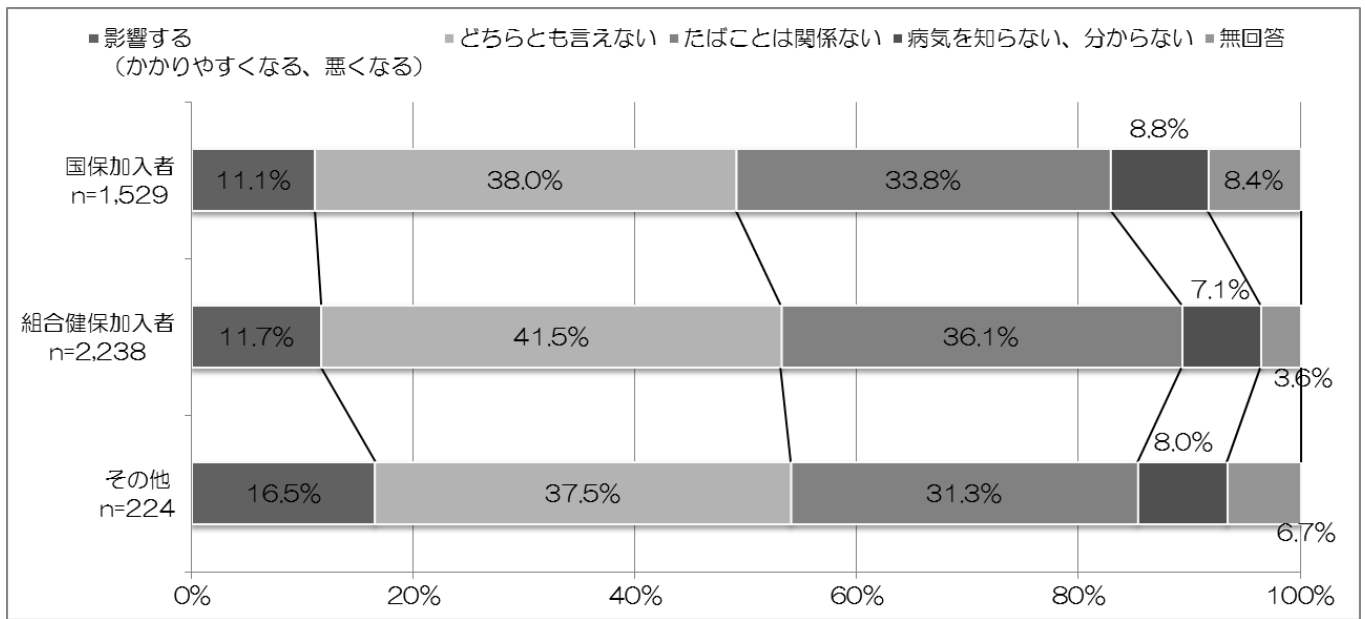


◆視力低下

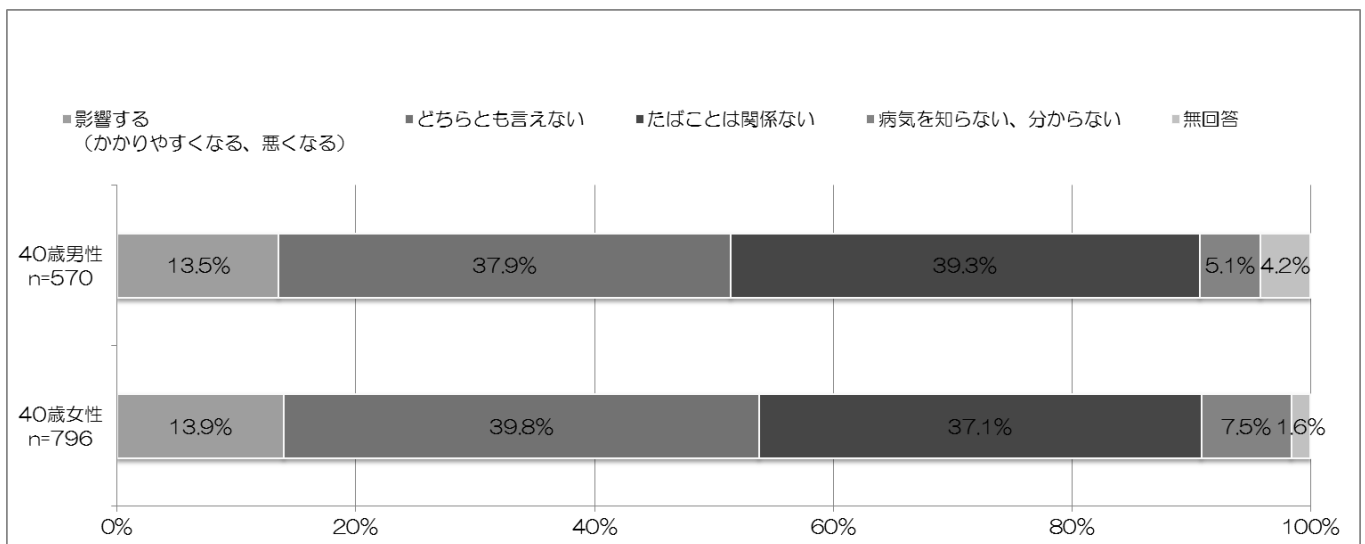
喫煙と病気の関係に関する意識—視力低下に関しては、全体では「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、39.9%であった。年代別・性別にみても、全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。

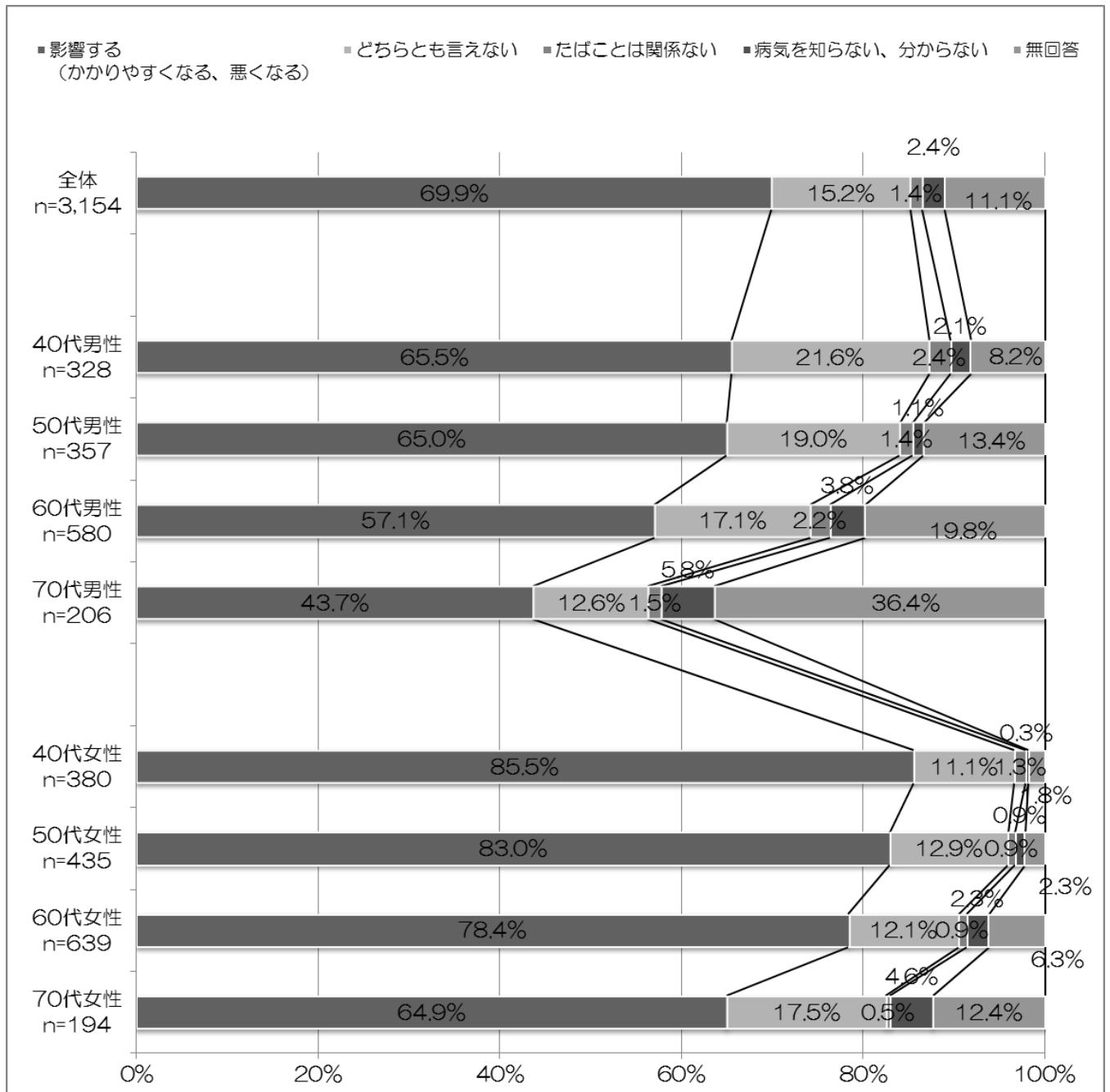


◆40歳の傾向

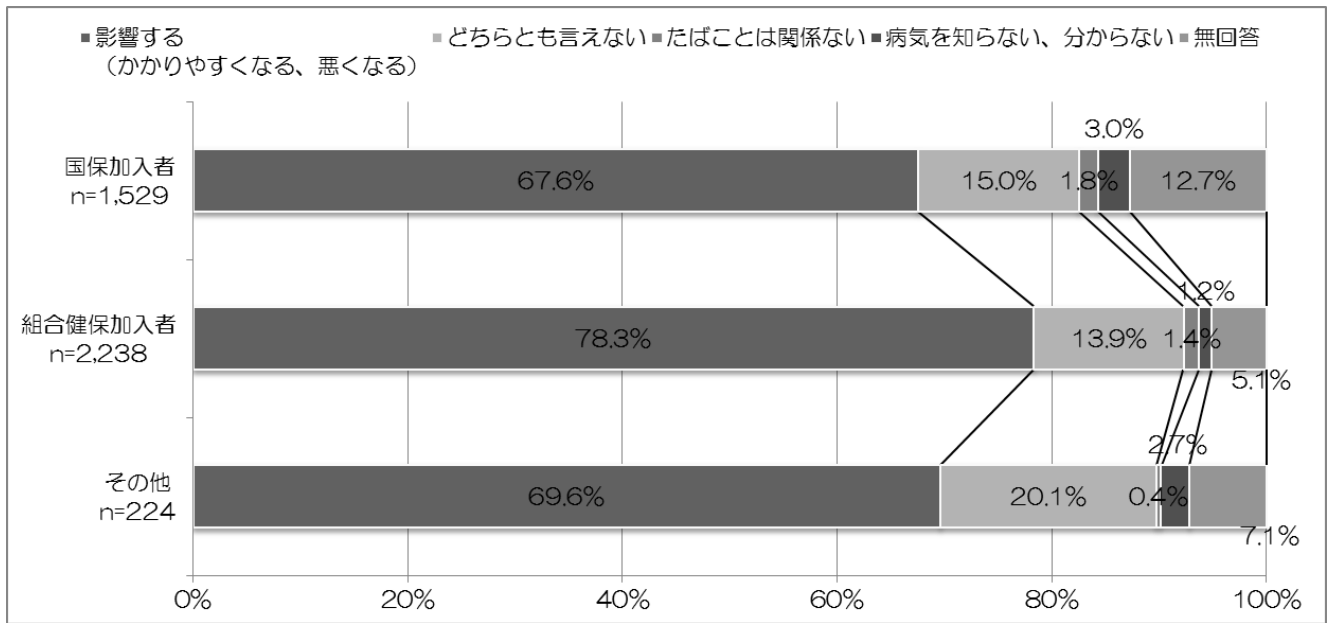


◆妊娠に関連した異常

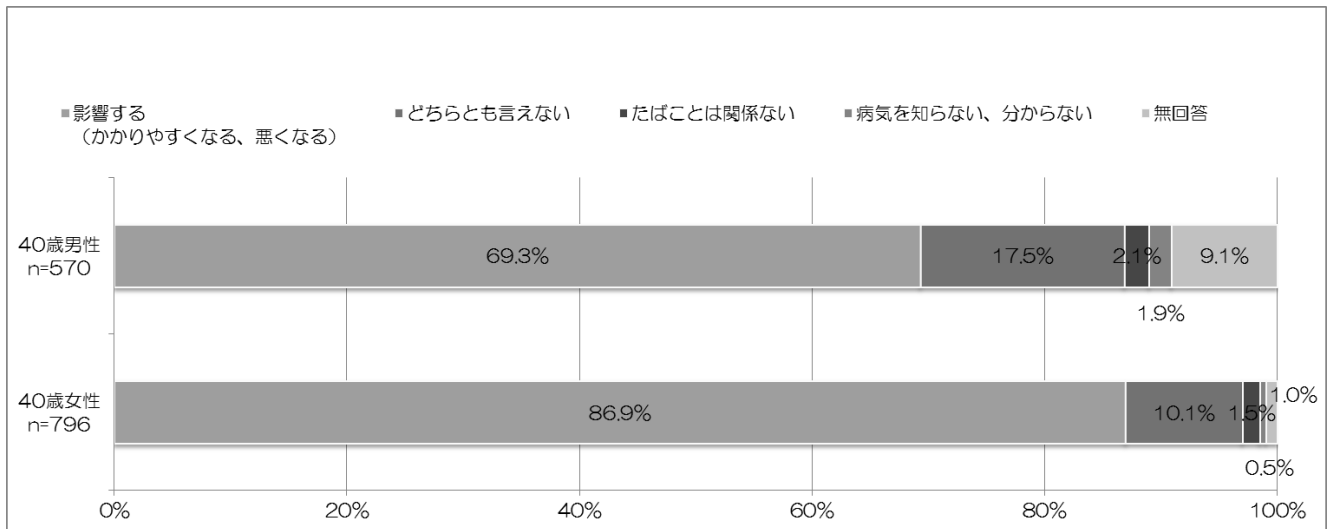
喫煙と病気の関係に関する意識—妊娠に関する異常に関しては、全体では「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、69.9%であった。年代別・性別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ても、全ての場合において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。

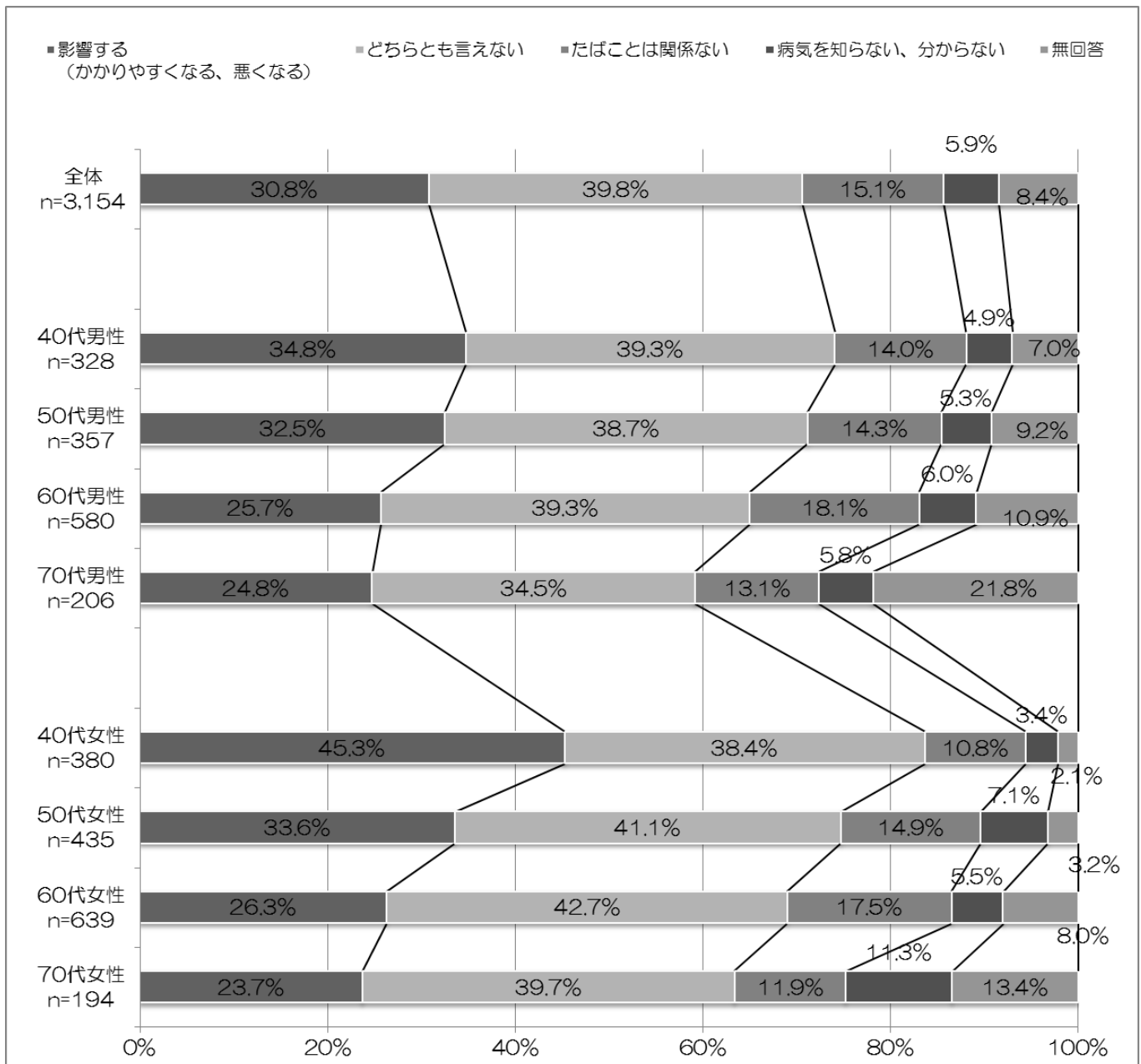


◆40歳の傾向

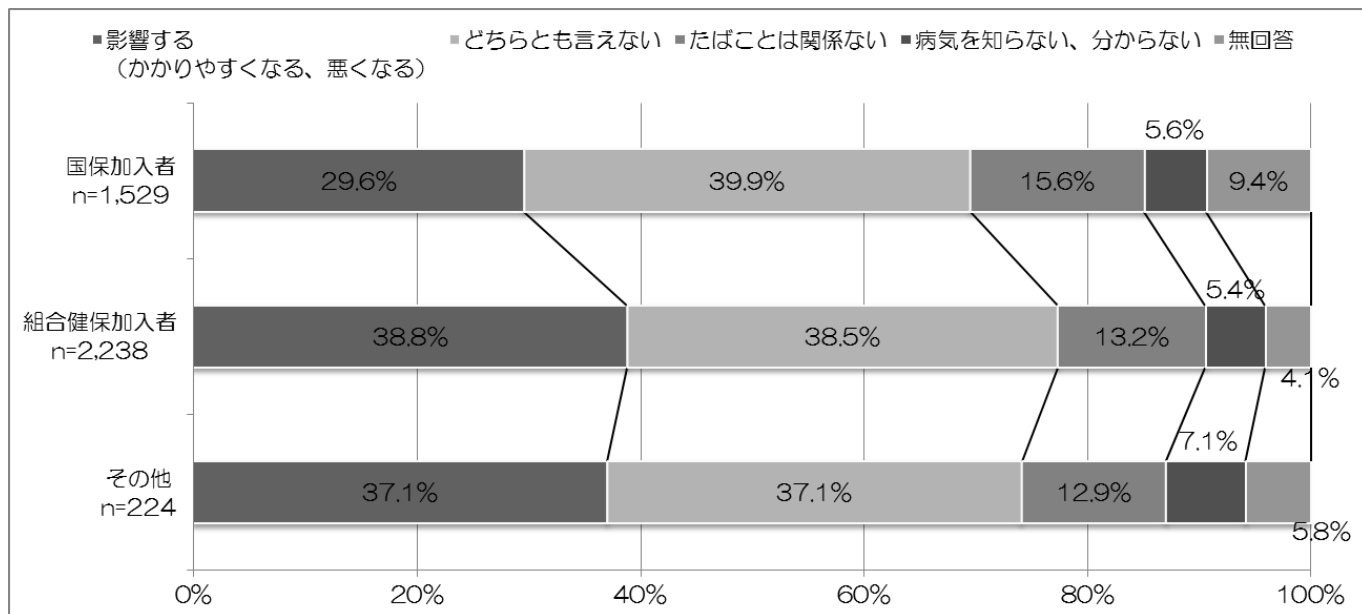


◆歯周病

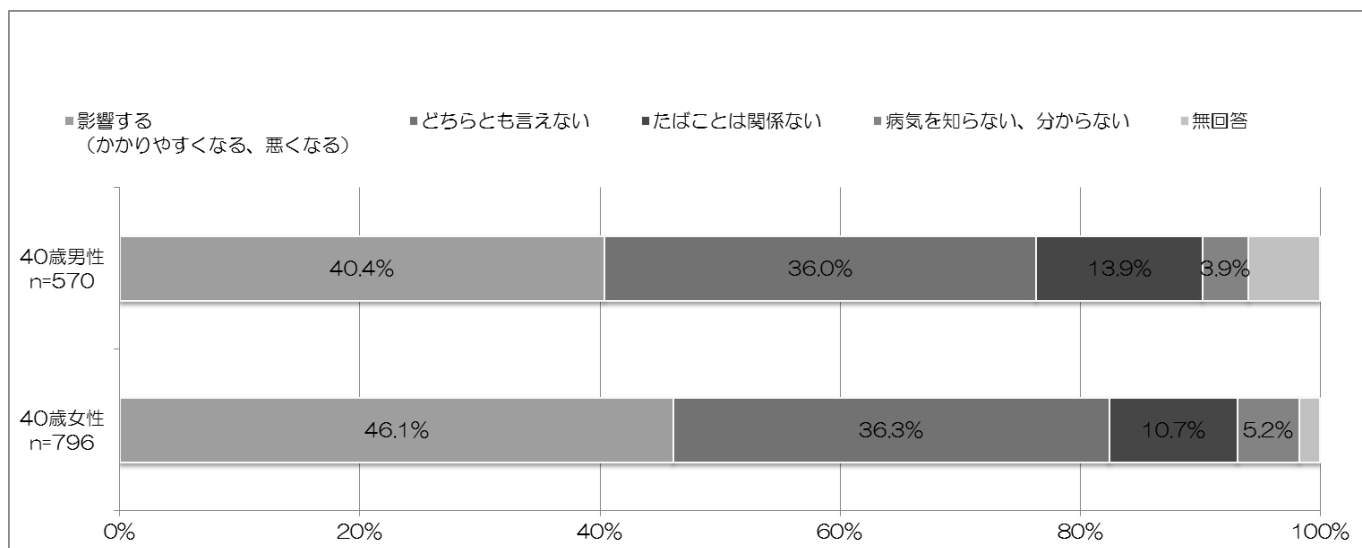
喫煙と病気に関する意識—歯周病に関しては、全体では「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、39.8%であった。年代別・性別にみると、40代女性において「影響する」と答えた回答者の割合が最も高かった。一方、その他全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、国保加入者においては「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、39.9%であった。一方、組合健保加入者においては「影響する」と答えた回答者の割合が最も高く、38.8%であった。



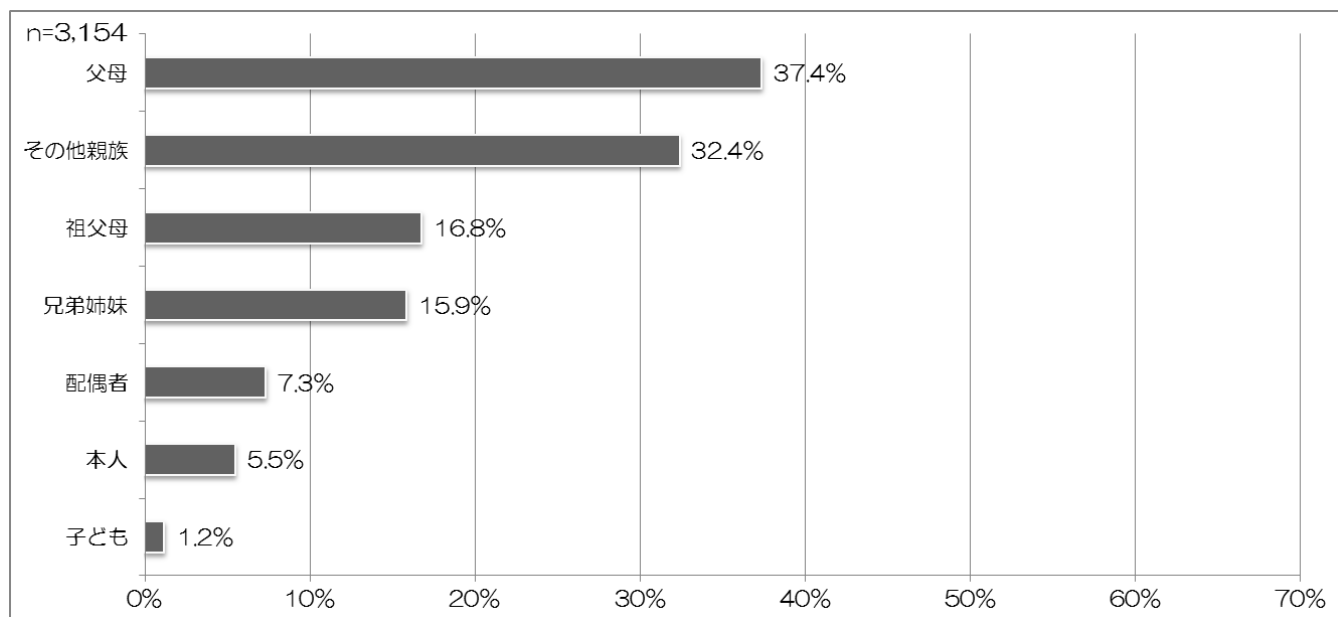
◆40歳の傾向



4. がんに関する周りの状況

問10-1. あなたの親族でがんになった人はいますか？当てはまる選択肢の○をすべて塗りつぶしてください。（複数回答）

親族のがん罹患の有無に関しては、全体では「父母」と答えた回答者の割合が最も高く、37.4%であった。年代別・性別にみると、40代男性、40代女性において「その他親族」と答えた回答者の割合が最も高かった。一方、50代男性、60代男性、70代男性、50代女性、60代女性、70代女性において「父母」と答えた回答者の割合が最も高かった。



	本人	配偶者	兄弟姉妹	父母	子ども	祖父母	その他親族
40代男性 n=328	0.0%	1.2%	1.8%	33.2%	0.6%	27.4%	33.5%
50代男性 n=357	3.1%	3.6%	9.0%	41.7%	0.6%	14.6%	31.7%
60代男性 n=580	6.4%	7.2%	19.8%	34.7%	1.7%	9.3%	25.7%
70代男性 n=206	10.7%	8.3%	25.7%	26.7%	1.9%	2.9%	22.3%
40代女性 n=380	3.9%	1.6%	3.4%	37.4%	1.6%	33.4%	44.7%
50代女性 n=435	5.3%	5.7%	13.1%	45.3%	0.2%	26.4%	41.4%
60代女性 n=639	7.7%	13.8%	25.0%	39.6%	0.9%	9.2%	29.3%
70代女性 n=194	7.2%	17.5%	30.4%	30.9%	3.1%	10.3%	28.9%

保険種別に見ると、国保加入者においては「父母」と答えた回答者の割合が最も高く、33.7%であった。一方、組合健保加入者においては「その他親族」と答えた回答者の割合が最も高く、39.5%であった。

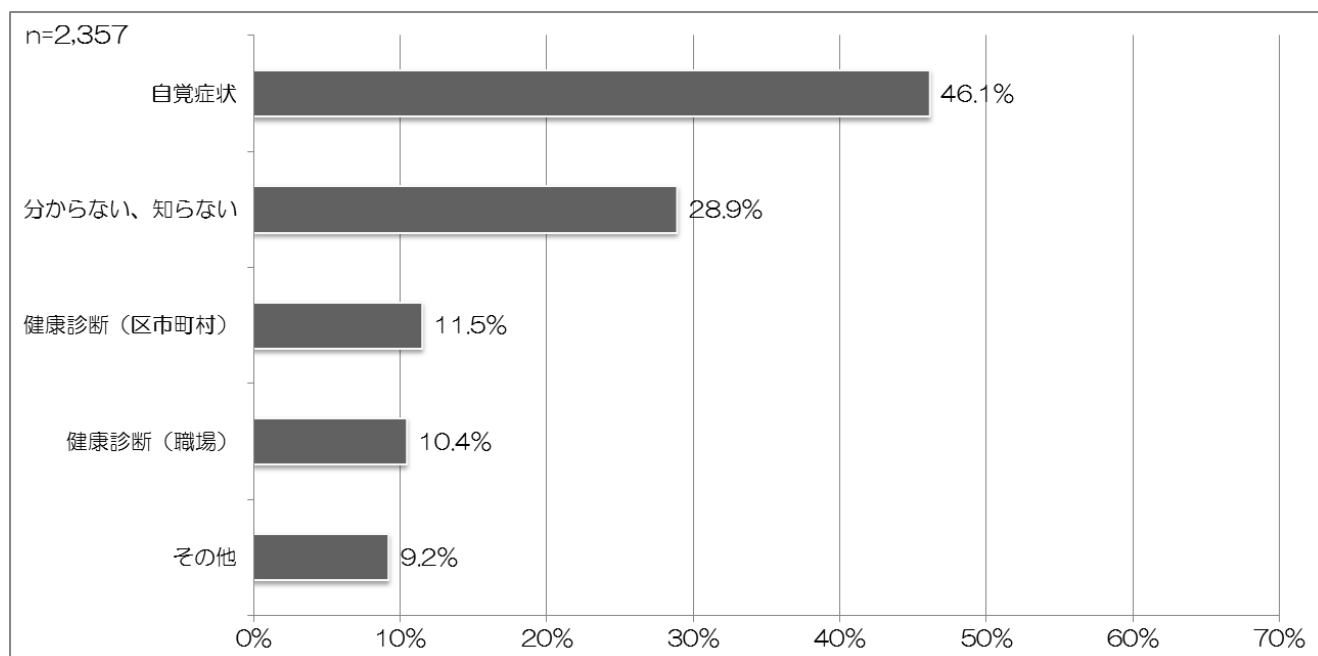
	本人	配偶者	兄弟姉妹	父母	子ども	祖父母	その他親族
国保加入者 n=1,529	5.8%	8.8%	18.8%	33.7%	1.1%	14.5%	29.8%
組合健保加入者 n=2,238	3.2%	3.0%	7.0%	34.6%	0.8%	29.1%	39.5%
その他 n=224	5.8%	5.8%	8.0%	33.9%	2.2%	19.6%	41.1%

◆40歳の傾向

	本人	配偶者	兄弟姉妹	父母	子ども	祖父母	その他親族
40歳男性 n=570	0.2%	0.5%	1.2%	23.7%	0.0%	31.1%	36.0%
40歳女性 n=796	1.4%	0.5%	1.9%	28.4%	0.8%	39.3%	45.6%

問10-2. 問10-1で1つでも○を選択された方にお伺いします。がんに気づいたきっかけは次に挙げるうちどれですか？当てはまる選択肢の○をすべて塗りつぶしてください。（複数回答）

がんに気づいたきっかけに関しては、全体では「自覚症状」と答えた回答者の割合が最も高く、46.1%であった。年代別・性別にみると、40代男性を除く全ての場合において「自覚症状」と答えた回答者の割合が最も高かった。



	自覚症状	健康診断 （職場）	健康診断 （区市町村）	分からない、 知らない	その他
40代男性 n=227	32.2%	8.4%	9.7%	50.2%	5.3%
50代男性 n=270	43.0%	10.7%	8.5%	31.9%	11.5%
60代男性 n=409	45.0%	11.5%	7.8%	25.9%	9.5%
70代男性 n=129	38.8%	13.2%	15.5%	27.1%	7.0%
40代女性 n=304	46.7%	9.9%	9.5%	34.2%	9.9%
50代女性 n=359	54.0%	11.7%	13.9%	27.0%	6.1%
60代女性 n=494	50.4%	10.1%	14.0%	21.7%	10.3%
70代女性 n=149	48.3%	8.1%	16.1%	20.1%	14.8%

保険種別に見ると、全ての場合において「自覚症状」と答えた回答者の割合が最も高かった。

	自覚症状	健康診断 (職場)	健康診断 (区市町村)	分からない、 知らない	その他
国保加入者 n=1,529	43.6%	9.5%	12.7%	29.3%	9.5%
組合健保加入者 n=2,238	45.6%	10.2%	9.3%	38.0%	6.8%
その他 n=224	41.6%	8.4%	10.1%	36.5%	12.9%

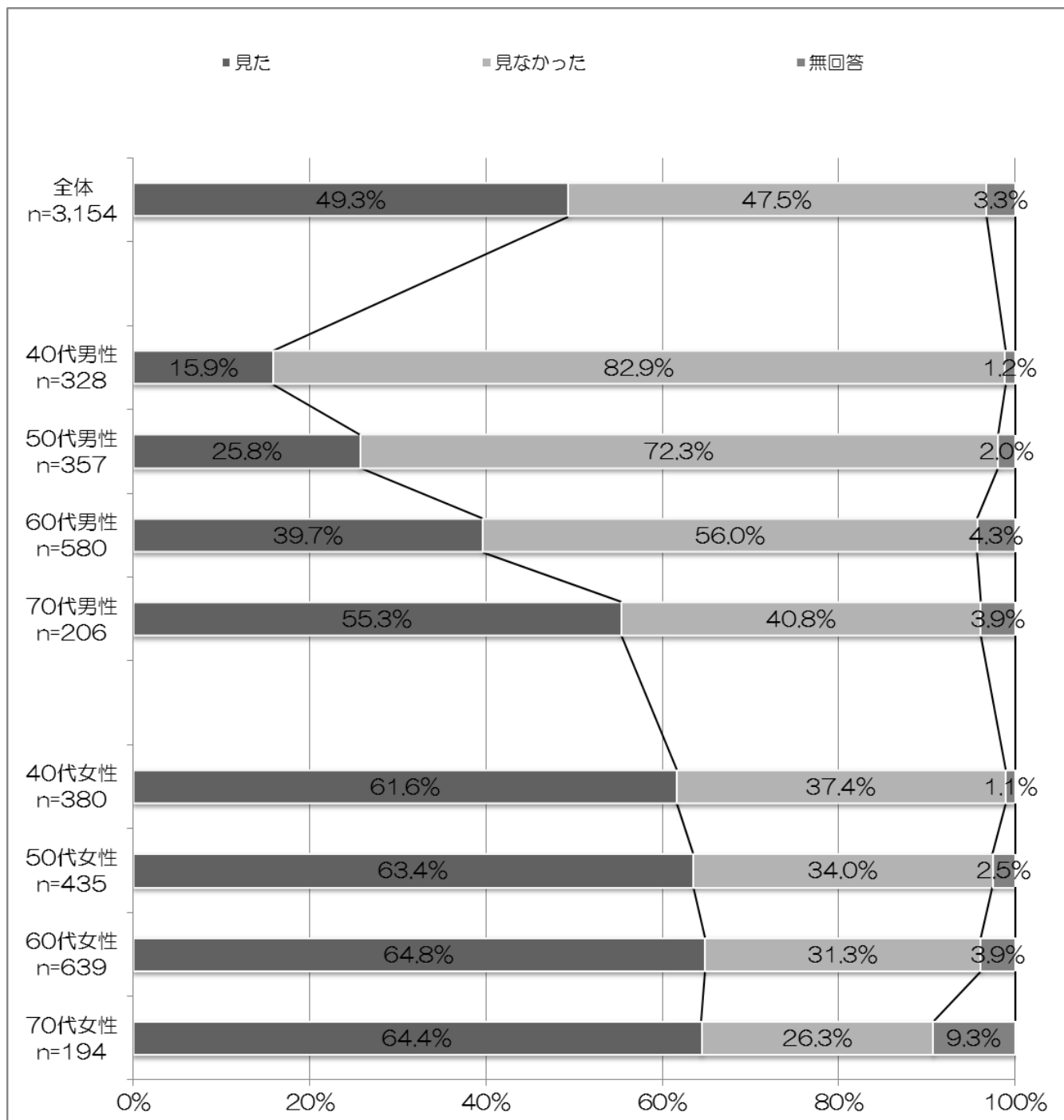
◆40歳の傾向

	自覚症状	健康診断 (職場)	健康診断 (区市町村)	分からない、 知らない	その他
40歳男性 n=391	30.9%	6.1%	6.6%	53.5%	6.6%
40歳女性 n=624	42.8%	9.6%	9.6%	45.4%	5.9%

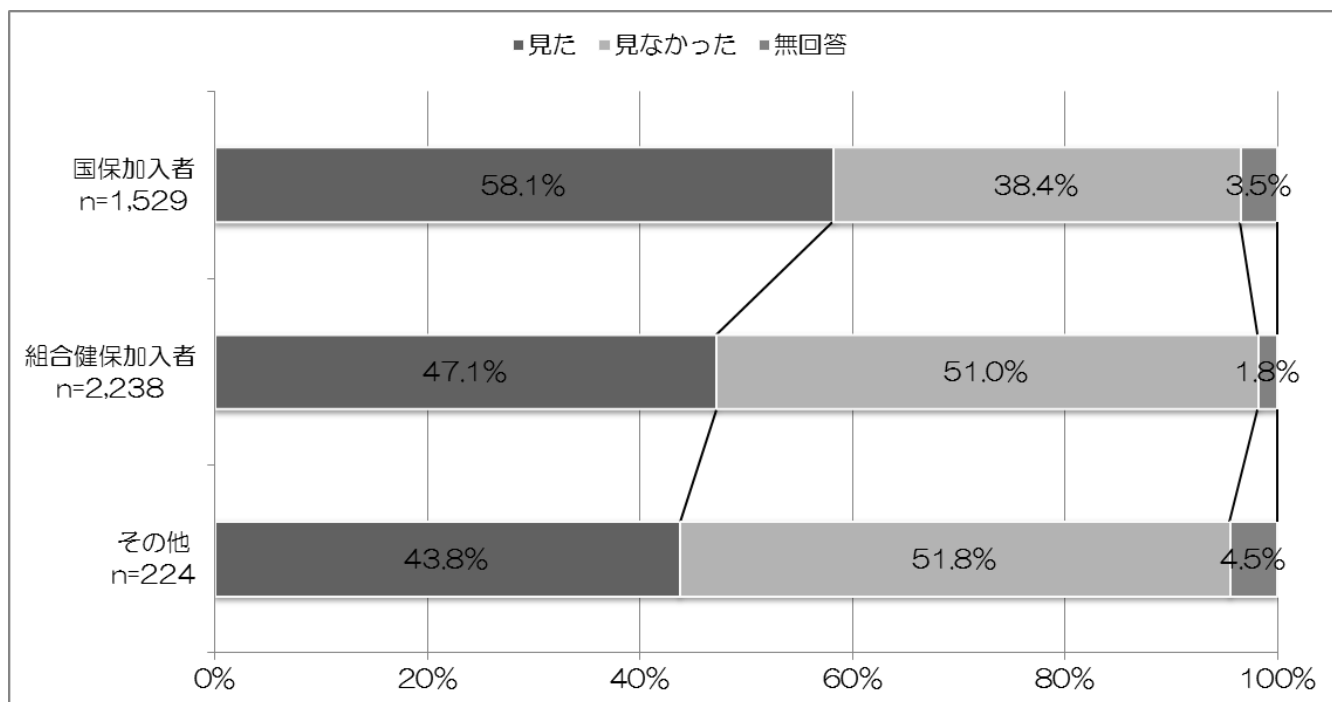
5. 市のがん対策に関する意識・要望

問11-1. あなたは、この1年間で、八王子市が発行したがん検診のご案内を目にしましたか？当てはまる選択肢の○を1つだけ塗りつぶしてください。

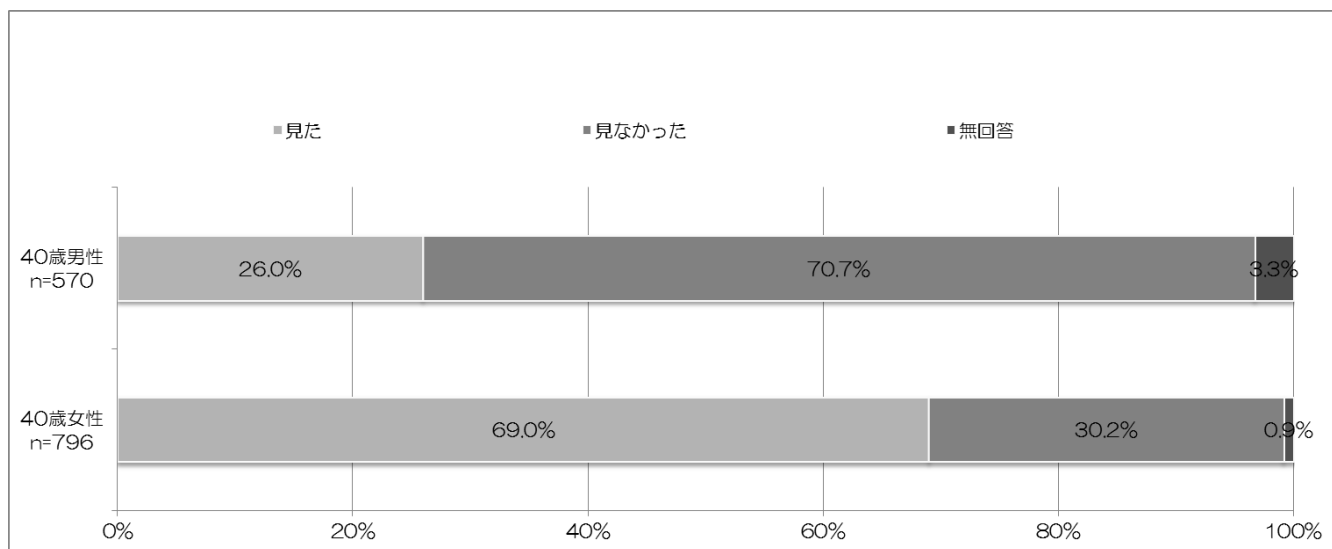
市のがん検診の案内の認知の有無に関しては、全体では「見た」と答えた回答者の割合が最も高く、49.3%であった。年代別・性別にみると、男性では70代を除く全ての場合において「見なかった」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性では全ての場合において「見た」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、国保加入者においては「見た」と答えた回答者の割合が最も高く、58.1%であった。一方、組合健保加入者においては「見なかった」と答えた回答者の割合が最も高く、51.0%であった。



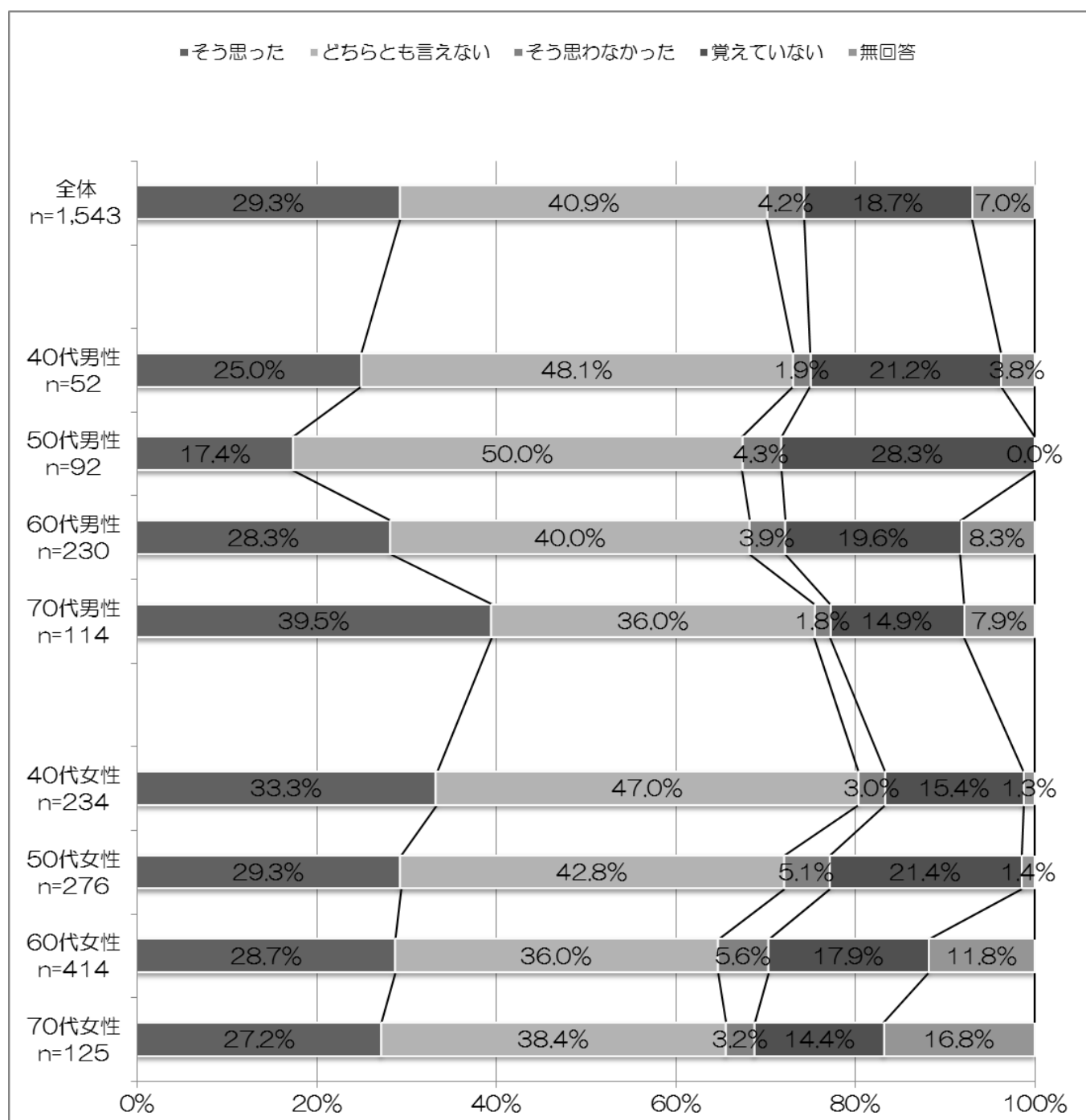
◆40歳の傾向



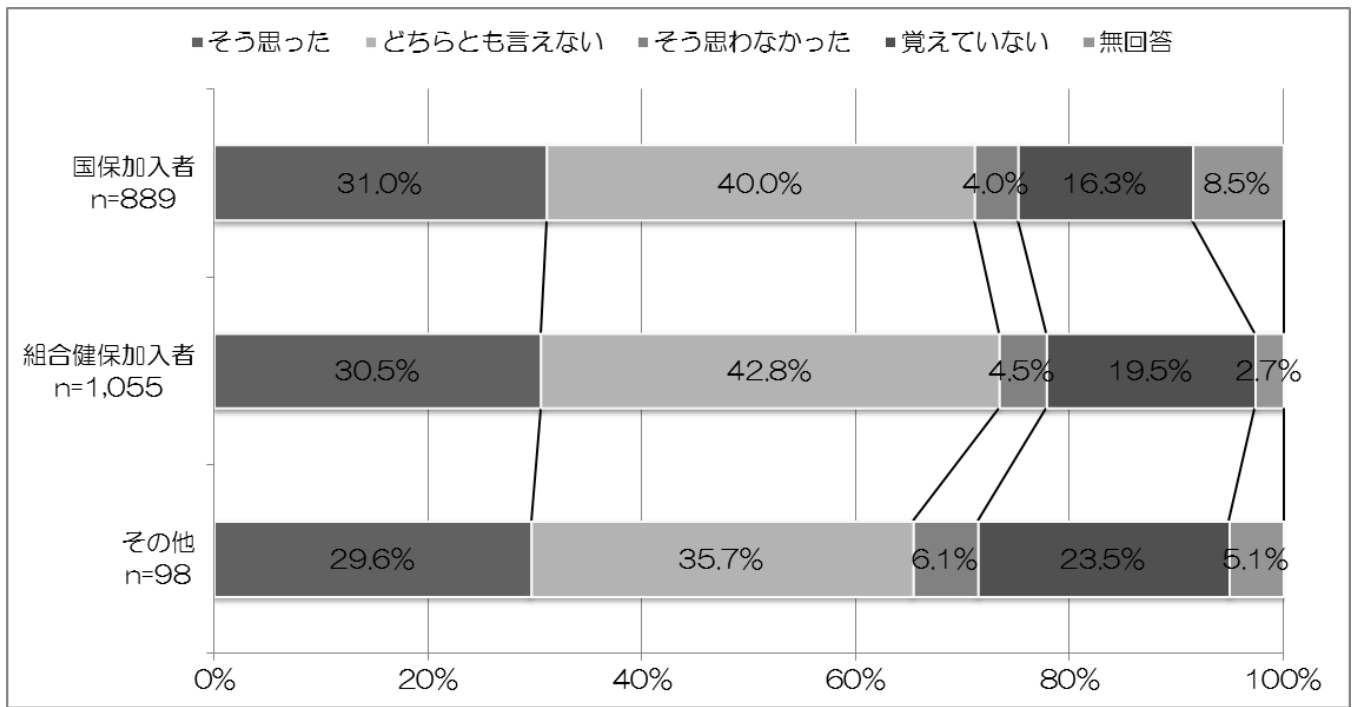
問11-2. 問11-1で「見た」とお答えになった方にお伺いします。該当する選択肢の○を1つだけ塗りつぶしてください。

◆イメージのよい案内だ

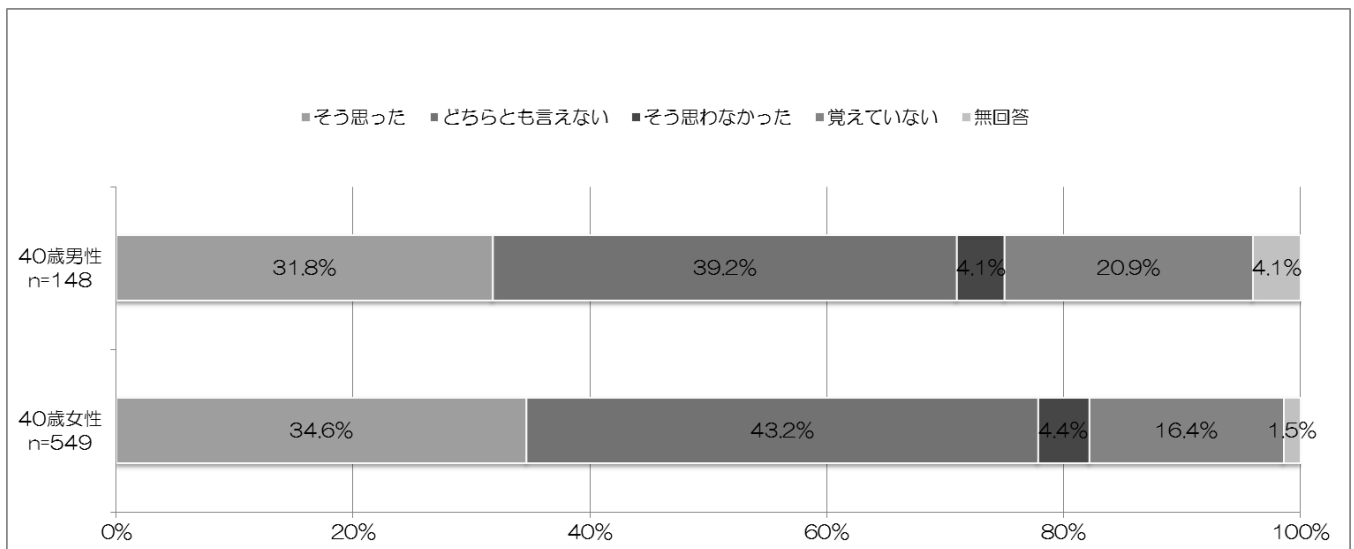
市のがん検診の案内に対する印象—「イメージのよい案内だ」に関しては、全体では「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、40.9%であった。年代別・性別にみると、男性では70代を除く全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性では全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。

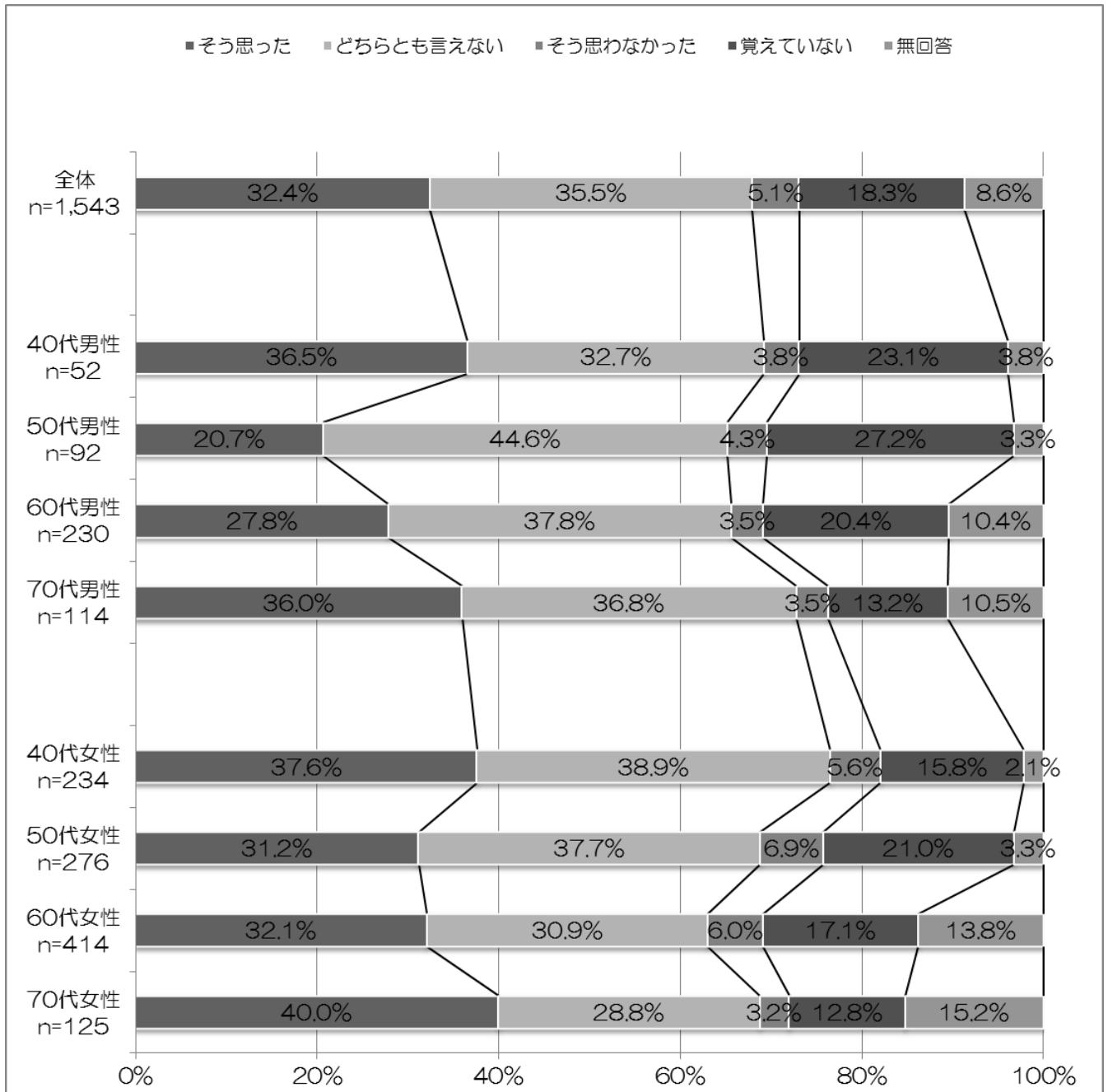


◆40歳の傾向

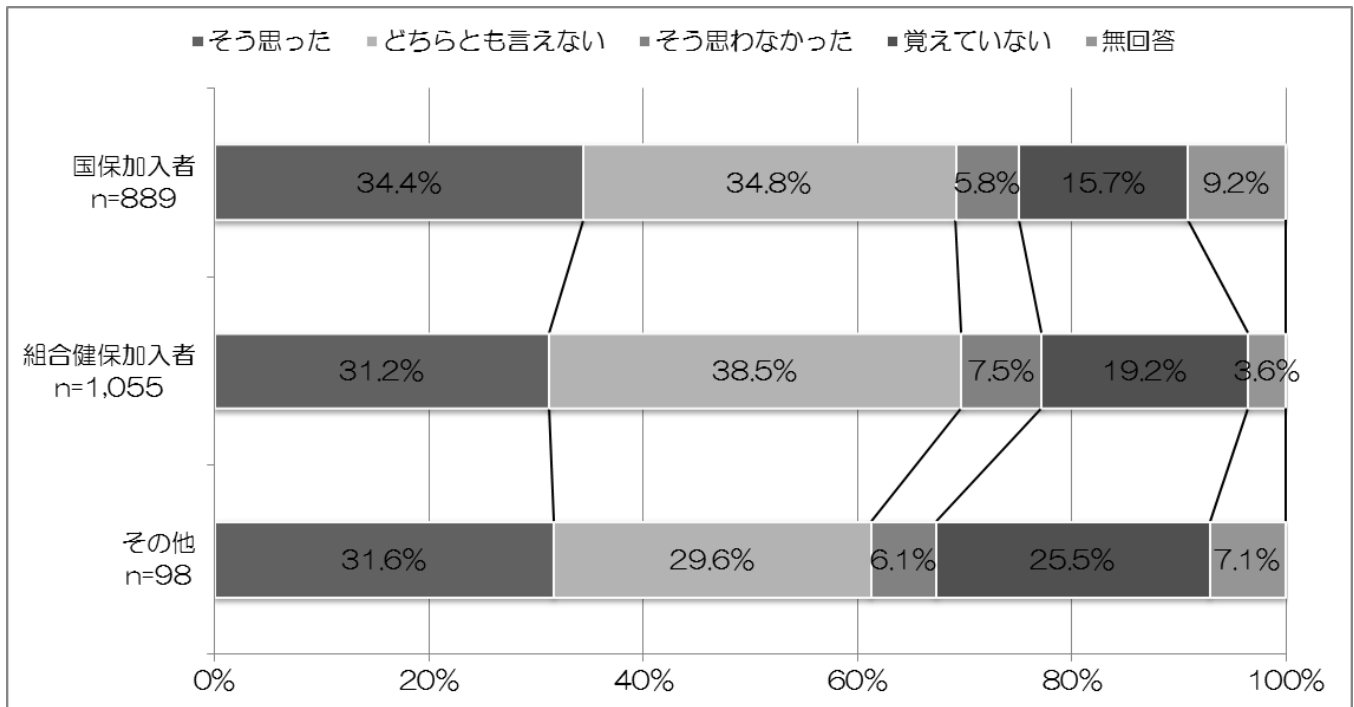


◆内容の説明が丁寧だ

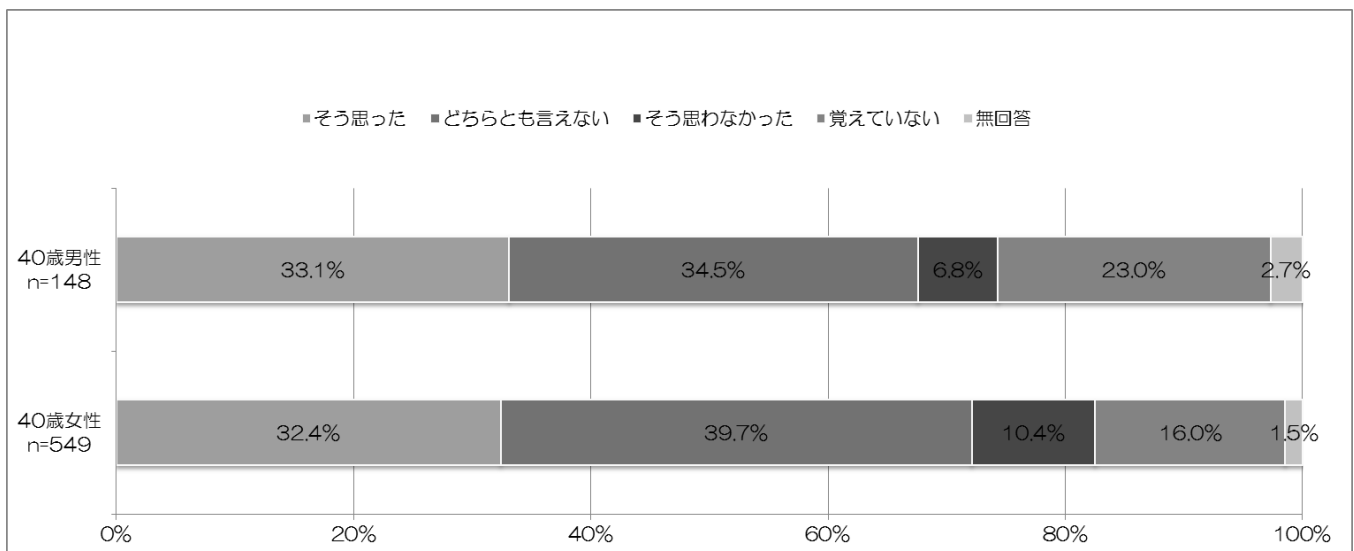
市のがん検診の案内に対する印象—「内容の説明が丁寧だ」に関しては、全体では「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、35.5%であった。年代別・性別にみると、男性では40代を除く全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性では60代、70代を除く全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。

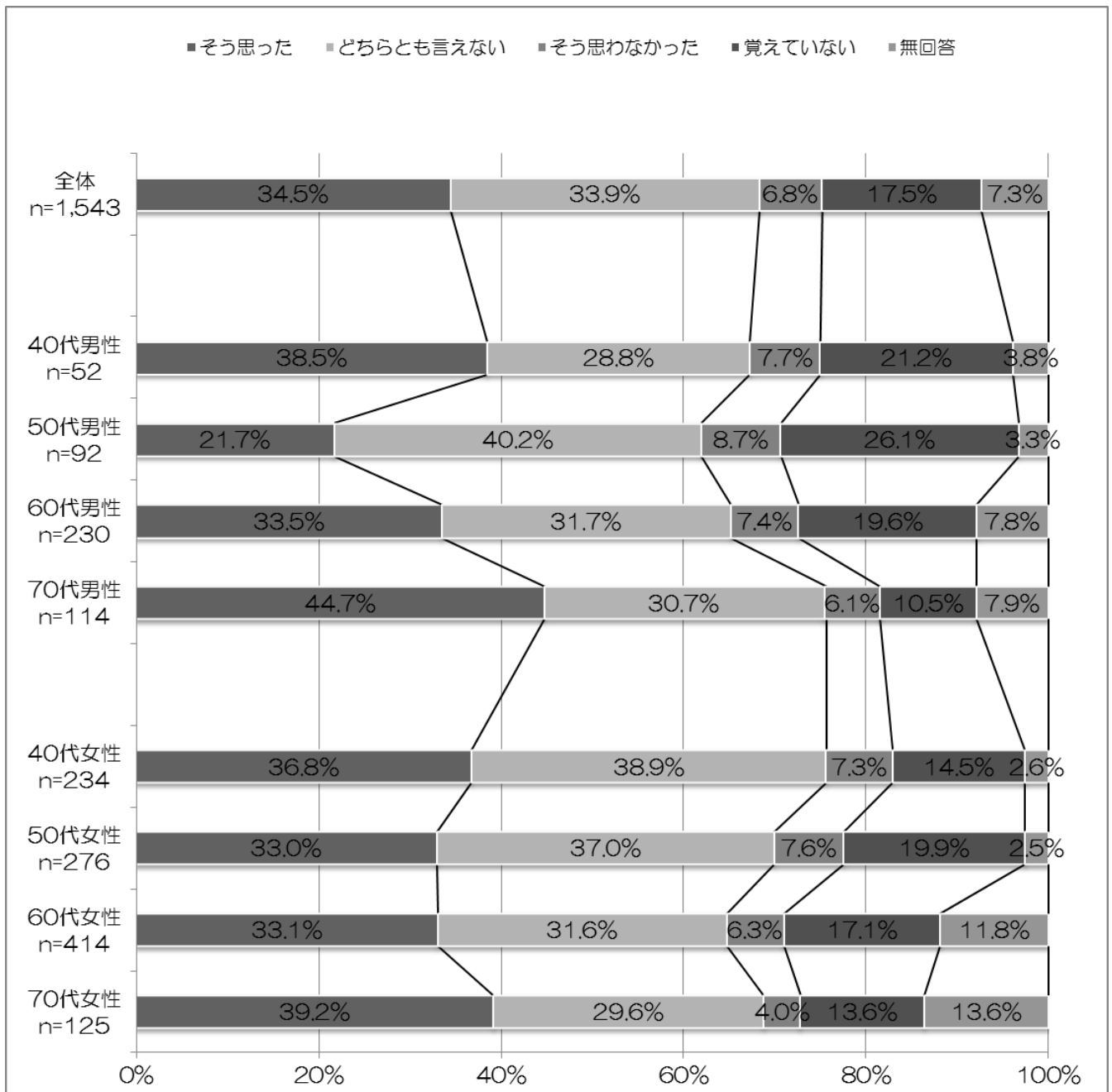


◆40歳の傾向

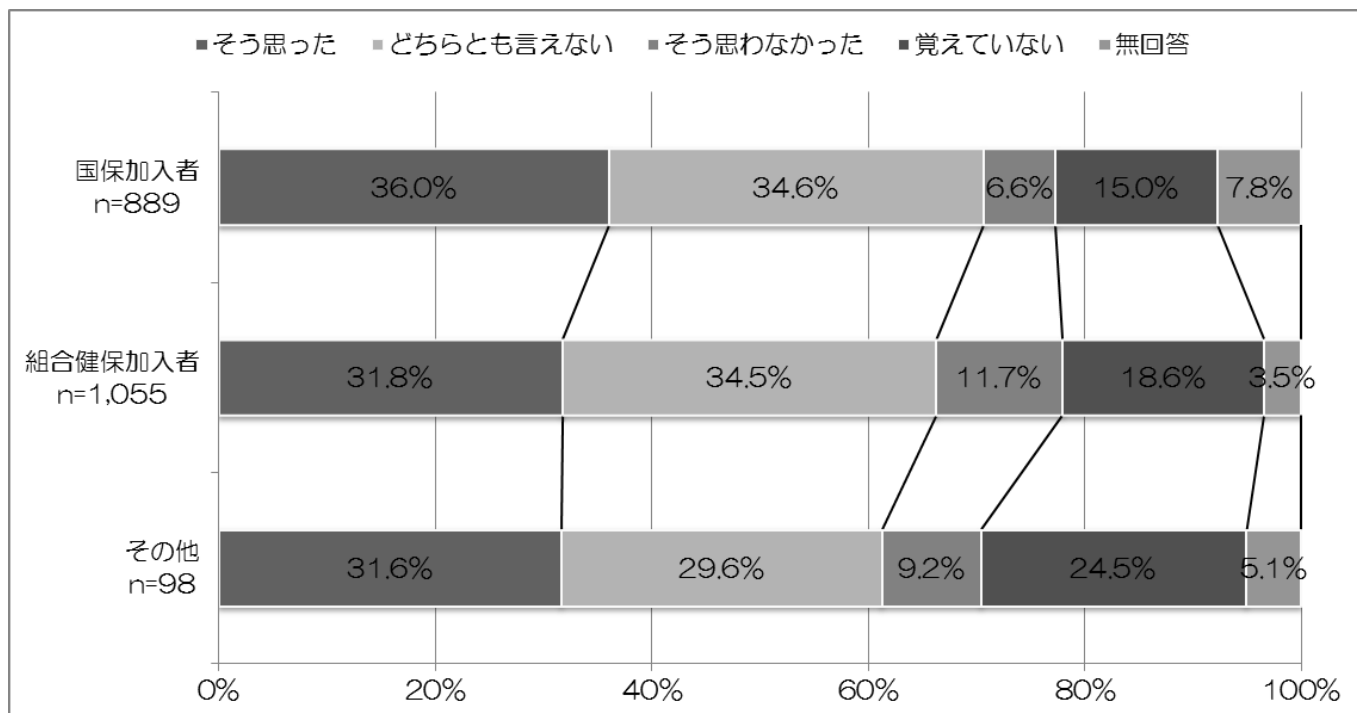


◆説明の内容が分かりやすい

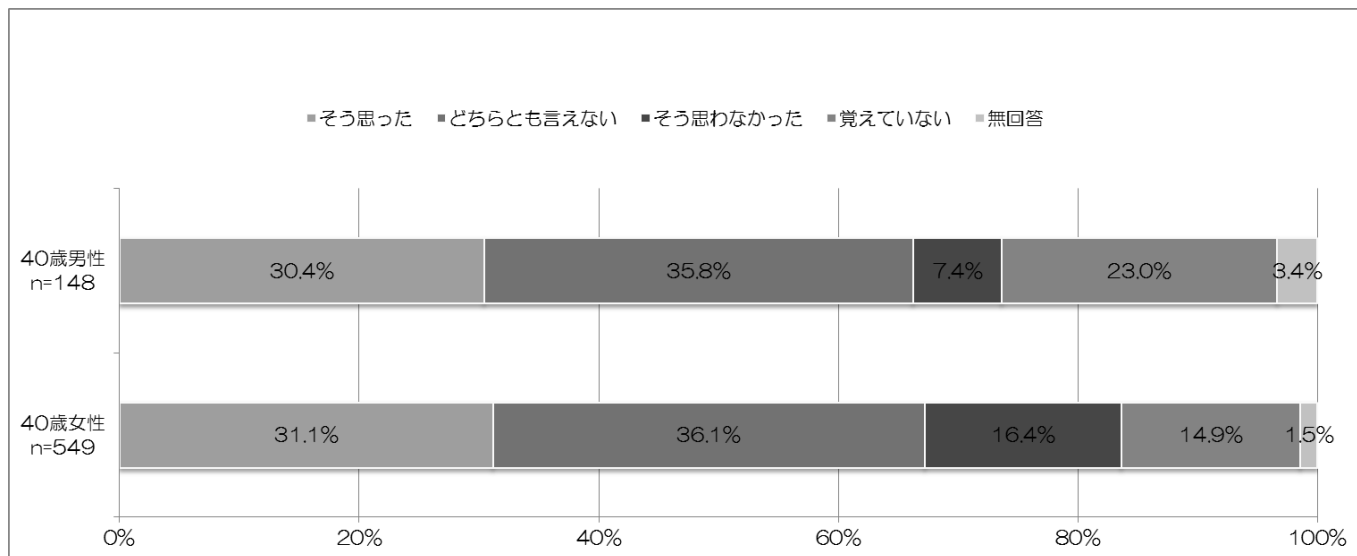
市のがん検診の案内に対する印象—「説明の内容が分かりやすい」に関しては、全体では「そう思った」と答えた回答者の割合が最も高く、34.5%であった。年代別・性別にみると、男性では50代を除く全ての場合において「そう思った」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性では60代、70代を除く全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。



保険種別に見ると、国保加入者において「そう思った」と答えた回答者の割合が最も高く、36.0%であった。一方、組合健保加入者において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、34.5%であった。



◆40歳の傾向



◆情報量が多すぎる

市のがん検診の案内に対する印象—「情報量が多すぎる」に関しては、全体では「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、37.4%であった。年代別・性別にみると、男性では全ての場合において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高かった。また、女性では50代、60代において「どちらとも言えない」と答えた回答者の割合が最も高く、40代、70代において「そう思わなかった」と答えた回答者の割合が最も高かった。

